

第5期各務原市地域福祉計画・ 地域福祉活動計画に係るアンケート調査

【結果報告書 概要版】

目次

I	調査概要.....	1
II	市民調査結果.....	2
III	民生委員・児童委員調査結果.....	19
IV	団体調査結果.....	30
V	第4期各務原市地域福祉計画・地域福祉活動計画の成果指標.....	34

令和5年12月

各務原市

I 調査概要

(1) 調査の目的

「第5期各務原市地域福祉計画・地域福祉活動計画」（令和7年度～令和11年度）を策定するにあたり、地域福祉に関する現状や課題、ニーズなどを把握するために実態調査を行い、計画策定の基礎資料を得ることを目的としました。

(2) 調査の実施概要

区分	調査対象者	調査期間	調査方法	配布数/ 回収数	回収率
市民	市内在住の18歳以上の市民2,000人を無作為抽出	令和5年10月12日～10月27日	郵送配布・郵送回収 またはWEB回答	2,000件	45.0%
				900件	
民生委員・ 児童委員	市内の民生委員・児童委員の方216人	令和5年10月中旬～11月中旬	郵送配付・地区民児協議会において回収	216件	93.5%
				202件	
団体	地域福祉に関連する分野で活動されている団体のうち36団体	令和5年10月中旬～11月中旬	郵送配布・郵送回収	36件	91.7%
				33件	

(3) 報告書の見方

- ・本概要版には、「第4期各務原市地域福祉計画・地域福祉活動計画」において指標として設定されている設問、経年で変化が見られる設問、今回の調査から新たに追加している設問を中心に掲載しています。
- ・図表のタイトルにある「単数回答」は選択肢の中から1つだけを選ぶもの、「複数回答」は選択肢の中から2つ以上を選ぶものを表します。
- ・グラフ中の「n」とは、number of Casesの略で、各設問に該当する回答者総数を表します。したがって、各選択肢の%に「n」を乗じることで、その選択肢の回答者が算出できます。
- ・グラフ中の「%」は、小数点第2位以下を四捨五入しているため、単数回答の設問（1つだけに○をつけるもの）であっても、合計が100.0%にならない場合があります。また、複数回答の設問の場合（あてはまるものすべてに○をつけるもの等）は、「n」に対する各選択肢の回答者数の割合を示します。
- ・グラフ中の選択肢は、原則として調査票に記載された表現のまま、選択肢の順に記載していますが、一部、必要に応じて省略しています。
- ・図表中において「不明・無回答」とあるものは、回答が示されていない、または回答の判別が困難なものです。

(4) 経年比較について

経年比較分析には、平成30年度に実施した「各務原市地域福祉に関するアンケート調査」の結果を使用しています。

参考

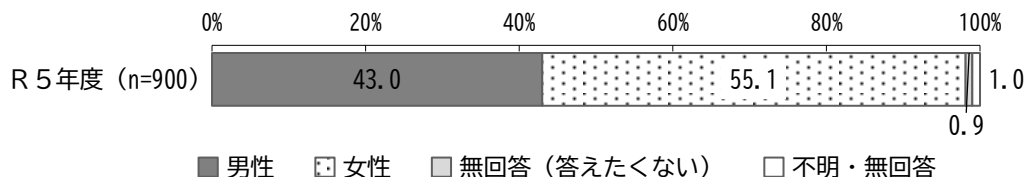
区分	配布数	回収数	回答率
市民	2,000件	1,070件	53.5%
民生委員・児童委員	228件	205件	89.9%
団体	12件	11件	91.6%

II 市民調査結果

1 回答者の属性について

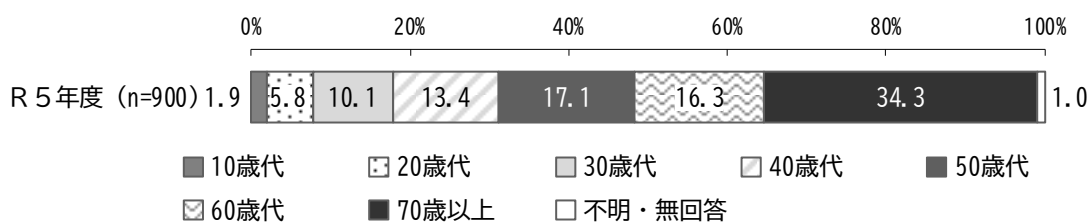
(1) 性別（単数回答）＜問1＞

「男性」が43.0%、「女性」が55.1%、「無回答（答えたくない）」が0.9%となっています。



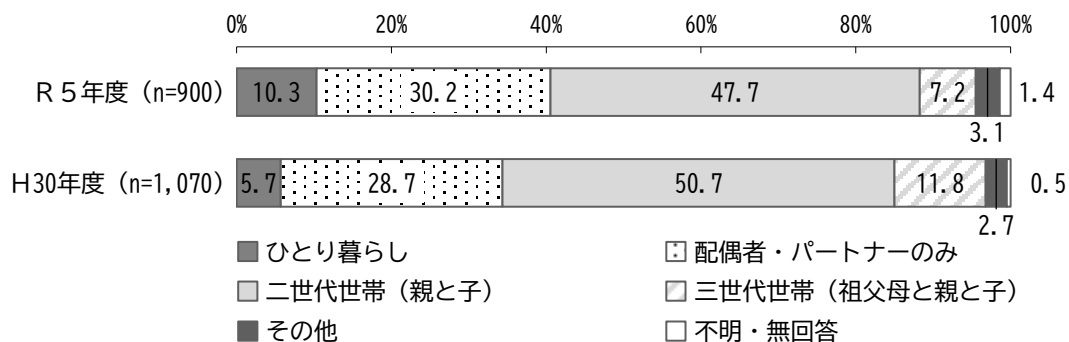
(2) 年齢（令和5年10月1日現在）（単数回答）＜問2＞

「70歳以上」が34.3%と最も高く、次いで「50歳代」が17.1%となっています。



(3) 家族構成（単数回答）＜問6＞

「二世世代世帯（親と子）」が47.7%と最も高く、次いで「配偶者・パートナーのみ」が30.2%となっています。

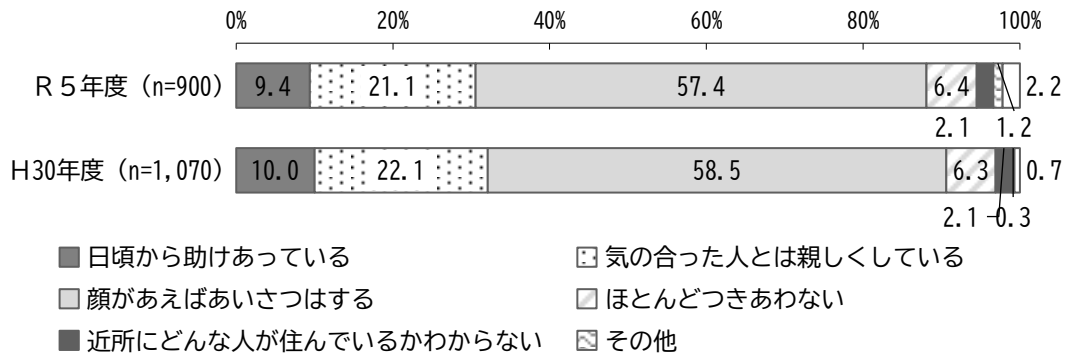


2 福祉に対する考えやお住まいの地域の状況について

(1) 近所の人とのつきあいの程度（単数回答）＜問7＞

「顔があえばあいさつはする」が57.4%と最も高く、次いで「気の合った人とは親しくしている」が21.1%となっています。

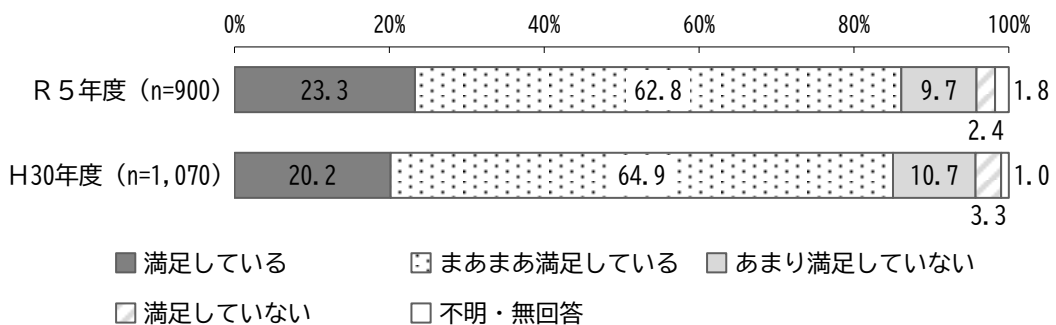
経年で比較して大きな変化はありませんが、「日ごろから助けあっている」「気の合った人とは親しくしている」「顔があえばあいさつはする」がそれぞれわずかに減少しています。



(2) 近所づきあいの満足度（単数回答）＜問8＞ **第4期指標 No.8**

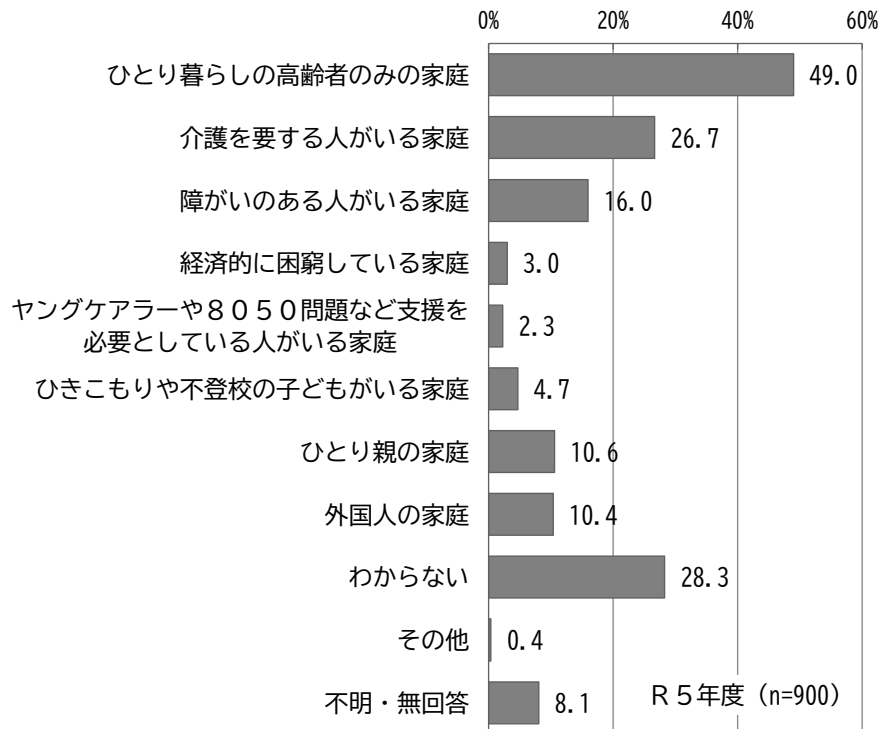
『満足』（「満足している」と「まあまあ満足している」の合算）が86.1%、『不満』（「あまり満足していない」と「満足していない」の合算）が12.1%となっています。

経年で比較すると、「満足している」が増加しています。



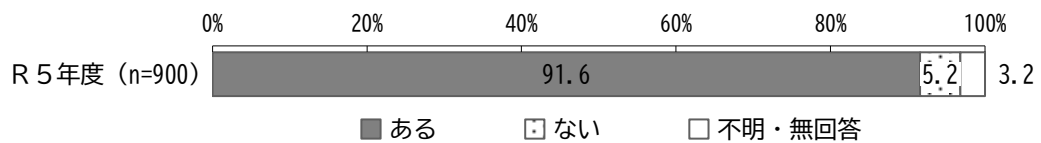
(3) 地域の課題や困りごとを抱える世帯（複数回答）〈問 10〉

「ひとり暮らしの高齢者のみの家庭」が49.0%と最も高く、次いで「わからない」が28.3%となっています。



(4) 「安心できる居場所」の有無（単数回答）〈問 11〉

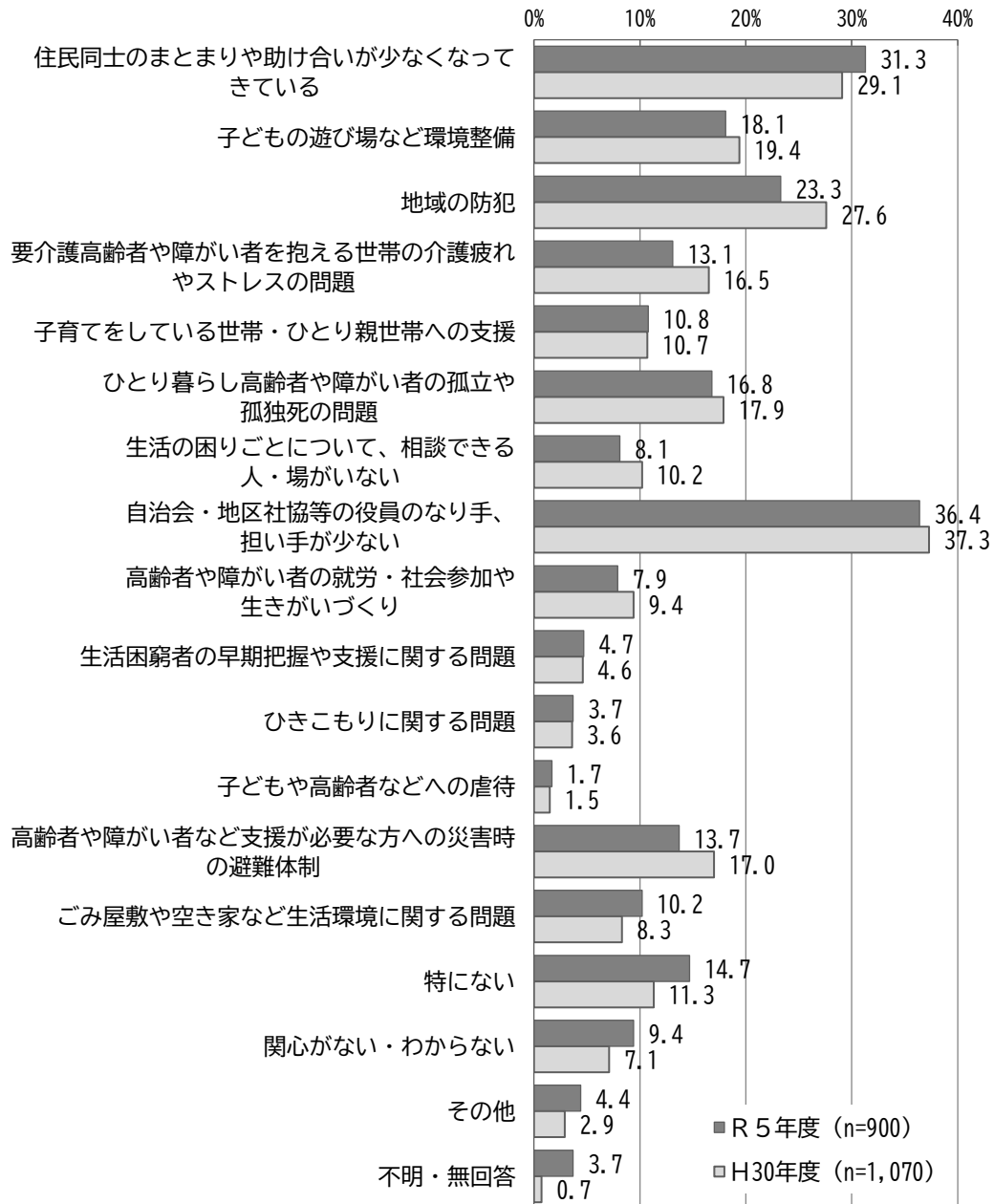
「ある」が91.6%、「ない」が5.2%となっています。



(5) 住んでいる地域の課題や問題（複数回答）＜問 12＞

「自治会・地区社協等の役員のなり手、担い手が少ない」が 36.4%と最も高く、次いで「住民同士のまとまりや助け合いが少なくなっている」が 31.3%となっています。

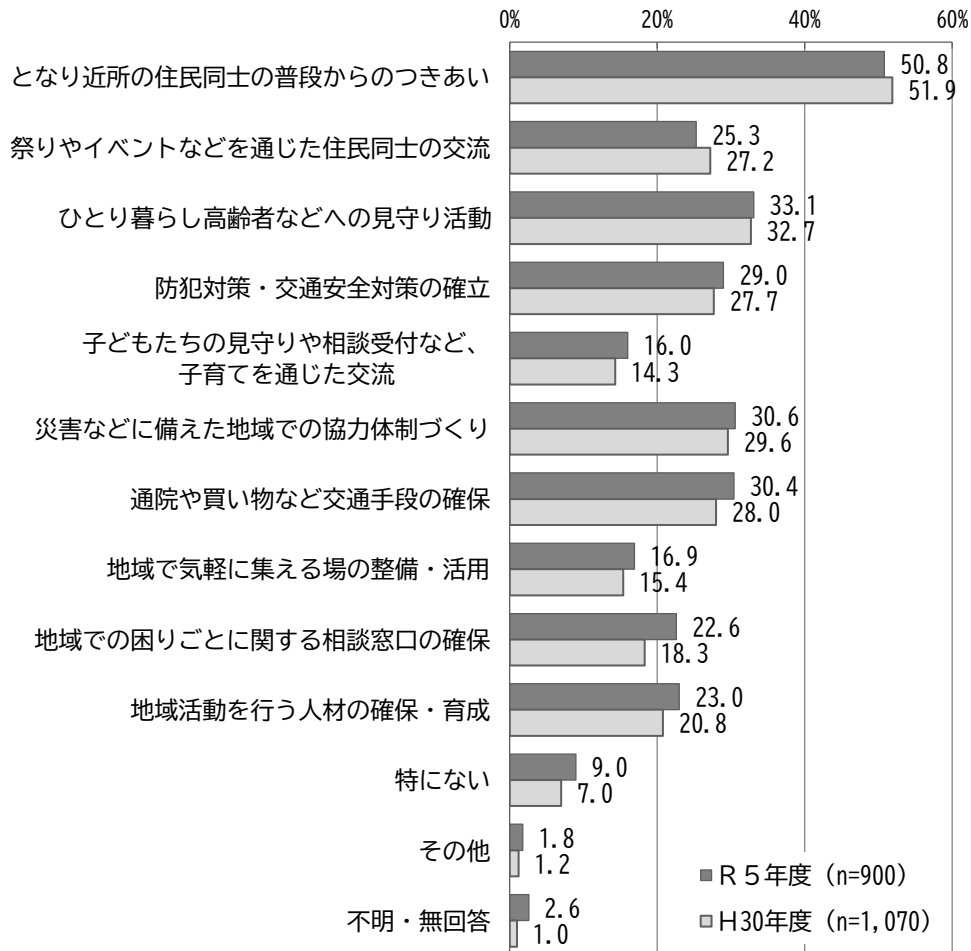
経年で比較すると、特に「特にない」「関心がない・わからない」「住民同士のまとまりや助け合いが少なくなっている」が増加しています。



(6) 助け合い、支え合う地域づくりのために必要な地域の取り組み（複数回答）〈問 13〉

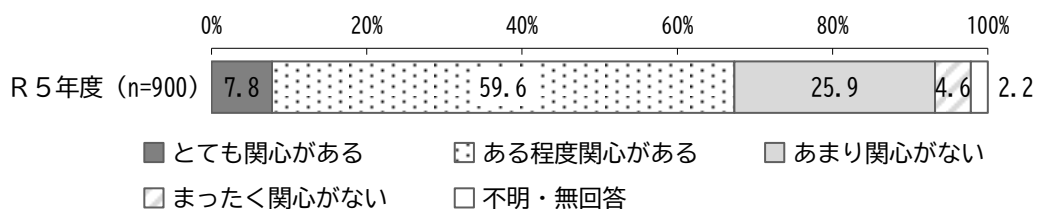
「となり近所の住民同士の普段からのつきあい」が50.8%と最も高く、次いで「ひとり暮らし高齢者などへの見守り活動」が33.1%となっています。

経年で比較すると、特に「地域での困りごとに関する相談窓口の確保」「通院や買い物など交通手段の確保」が増加しています。



(7) 地域の住民同士での助け合い、支え合える地域づくりへの関心（単数回答）〈問 14〉

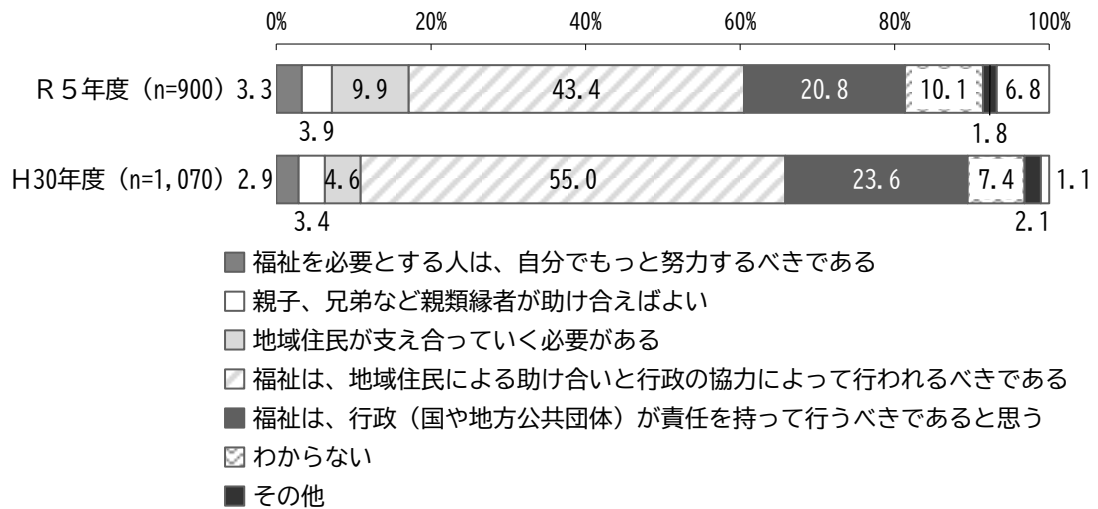
『関心がある』（「とても関心がある」と「ある程度関心がある」の合算）が67.4%、『関心がない』（「あまり関心がない」と「まったく関心がない」）が30.5%となっています。



(8) 福祉についての考え方 (単数回答) <問 15> **第4期指標 No.1**

「福祉は、地域住民による助け合いと行政の協力によって行われるべきである」が43.4%と最も高く、次いで「福祉は、行政（国や地方公共団体）が責任を持って行うべきであると思う」が20.8%となっています。

経年で比較すると、「地域住民が支え合っていく必要がある」が増加し、「福祉は、地域住民の助け合いと行政の協力によって行われるべきである」が減少しています。

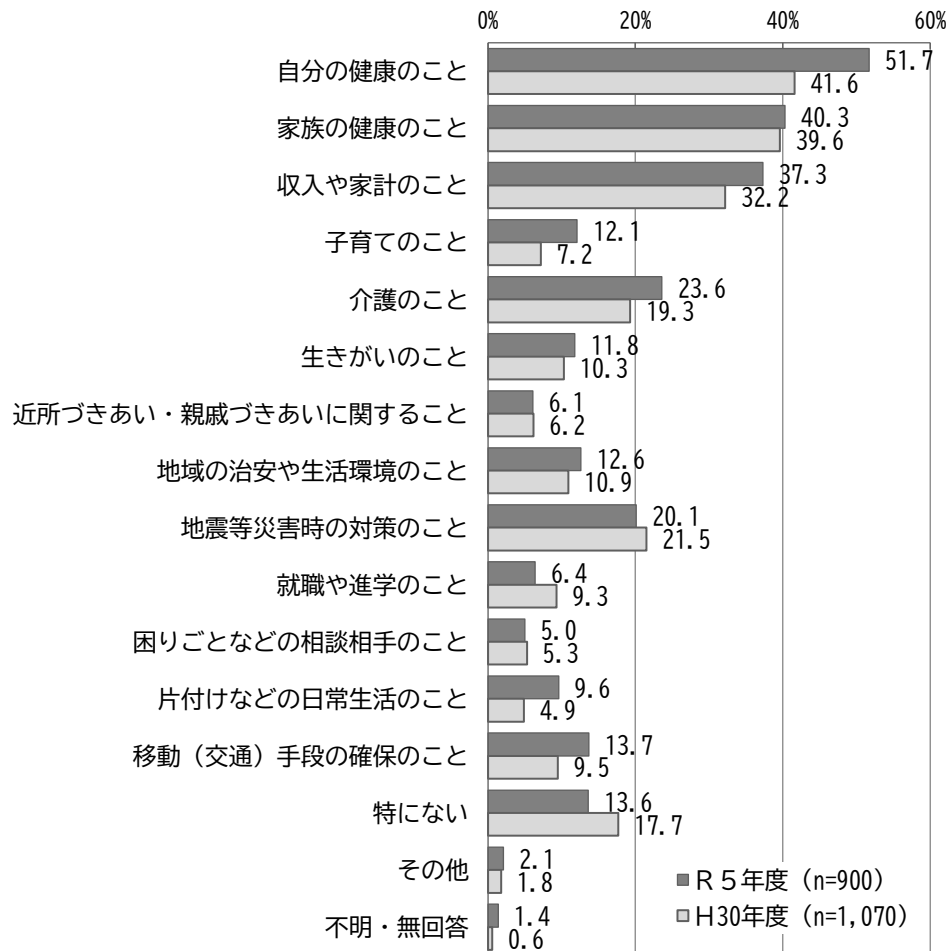


3 日々の生活の中での困りごとや相談、福祉情報の入手などについて

(1) 日々の生活の中での主な悩みや不安（複数回答）＜問 16＞

「自分の健康のこと」が51.7%と最も高く、次いで「家族の健康のこと」が40.3%となっています。

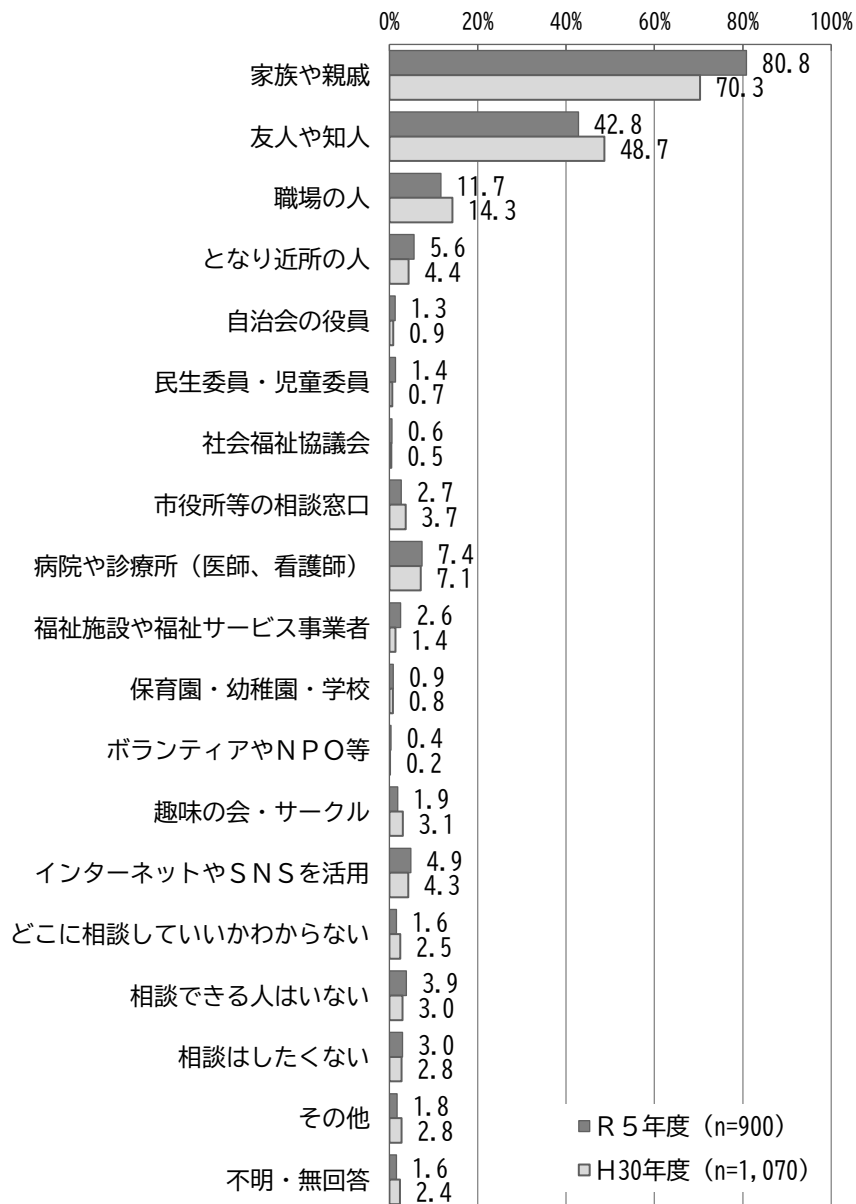
経年で比較すると、特に「自分の健康のこと」「収入や家計のこと」が増加しています。



(2) 生活上の不安や悩みの相談先（複数回答）＜問 17＞ **第4期指標 No.16**

「家族や親戚」が 80.8%と最も高く、次いで「友人や知人」が 42.8%となっており、悩みや不安を相談する人や場所がある市民の割合（「どこに相談していいかわからない」「相談できる人はいない」「相談はしたくない」「不明・無回答」を除く割合）は 89.9%となっています。

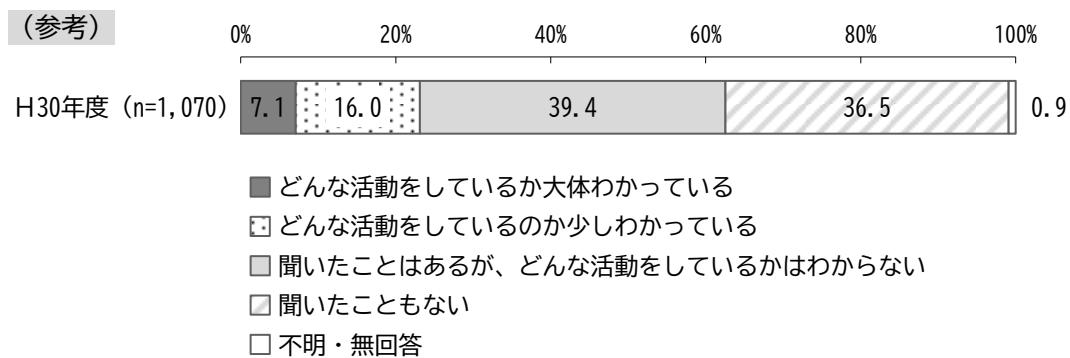
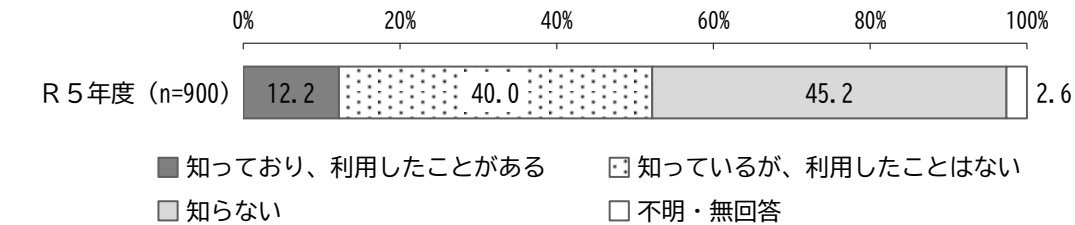
経年で比較すると、特に「家族や親戚」が増加しています。



(3) 地域包括支援センターの認知度 [高齢者相談] (単数回答) <問 18①> **第4期指標 No.9**

「知っており、利用したことがある」が12.2%、「知っているが、利用したことはない」が40.0%、「知らない」が45.2%となっています。

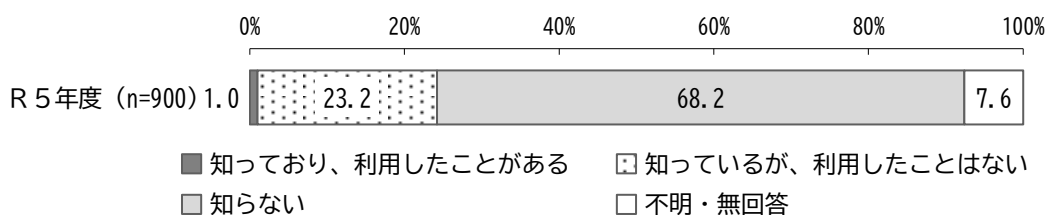
経年で比較すると、『知っている』（「知っており、利用したことがある」と「知っているが、利用したことはない」の合算）が52.2%となっており、大きく増加しています。



※令和5年度調査と平成30年度調査で選択肢の表現が異なる。

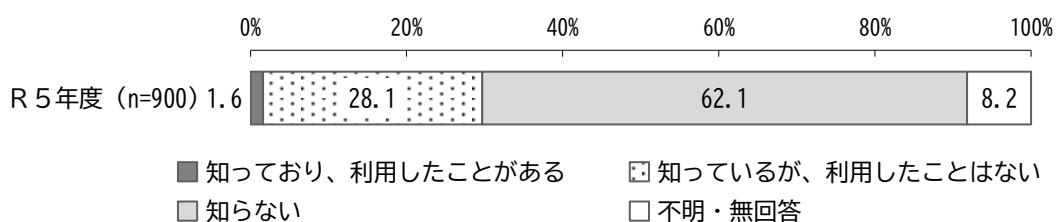
(4) 基幹相談支援センター (すまいる) [障がい児・者相談] の認知度 (単数回答) <問 18②>

「知っており、利用したことがある」が1.0%、「知っているが、利用したことはない」が23.2%、「知らない」が68.2%となっています。



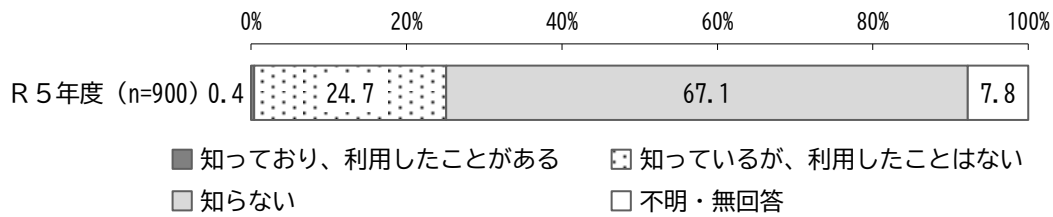
(5) 母子健康包括支援センター (クローバー) の認知度 [子育て相談] (単数回答) <問 18③>

「知っており、利用したことがある」が1.6%、「知っているが、利用したことはない」が28.1%、「知らない」が62.1%となっています。



(6) 生活支援センターさぽーとの認知度 [生活困窮者相談] (単数回答) <問 18④>

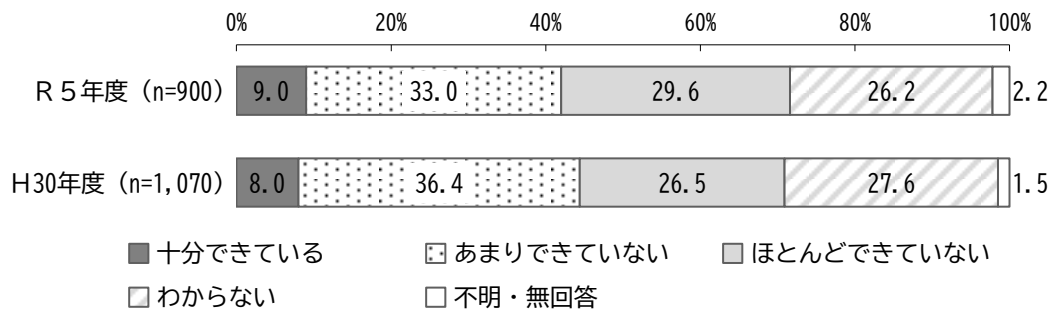
「知っており、利用したことがある」が0.4%、「知っているが、利用したことはない」が24.7%、「知らない」が67.1%となっています。



(7) 必要な福祉情報の入手状況 (単数回答) <問 20> **第4期指標 No.12**

「十分できている」が9.0%、『できていない』(「あまりできていない」と「ほとんどできていない」の合算)が62.6%、「わからない」が26.2%となっています。

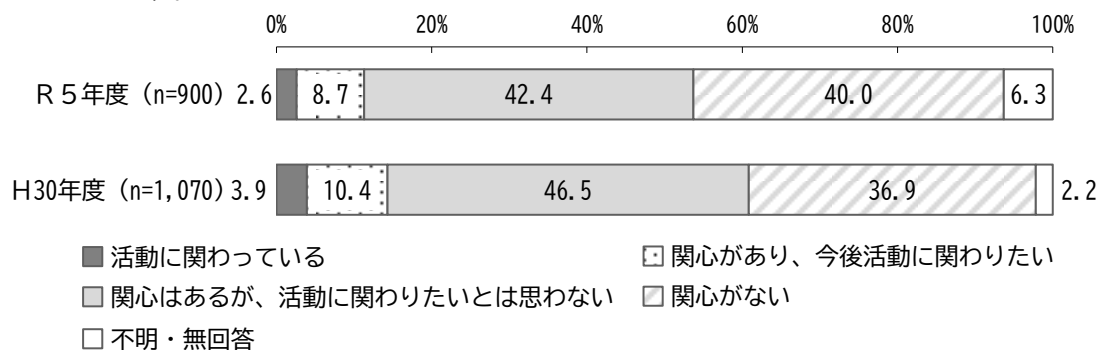
経年で比較して大きな変化はありませんが、「十分できている」がわずかに増加しています。



(8) 社会福祉協議会活動への関心度 (単数回答) <問 22①> **第4期指標 No.18**

『活動に関心がある』(「活動に関わっている」と「関心があり、今後活動に関わりたい」の合算)が11.3%、『活動に関心がない』(「関心はあるが、活動に関わりたいとは思わない」と「関心がない」の合算)が82.4%となっています。

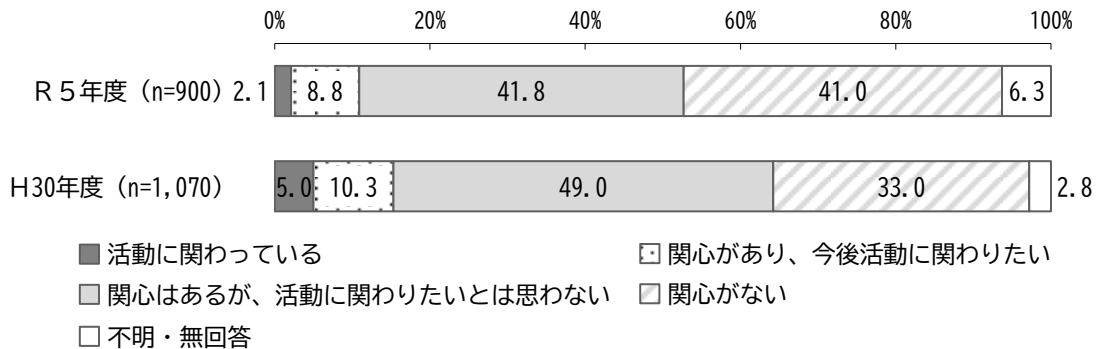
経年で比較すると、「関心はあるが、活動に関わりたいとは思わない」「関心がない」が増加しています。



(9) 地区社会福祉協議会活動への関心度 (単数回答) <問 22②> **第4期指標 No.19**

『活動に関心がある』(「活動に関わっている」と「関心があり、今後活動に関わりたい」の合算)が10.9%、『活動に関心がない』(「関心はあるが、活動に関わりたいとは思わない」と「関心がない」の合算)が82.8%となっています。

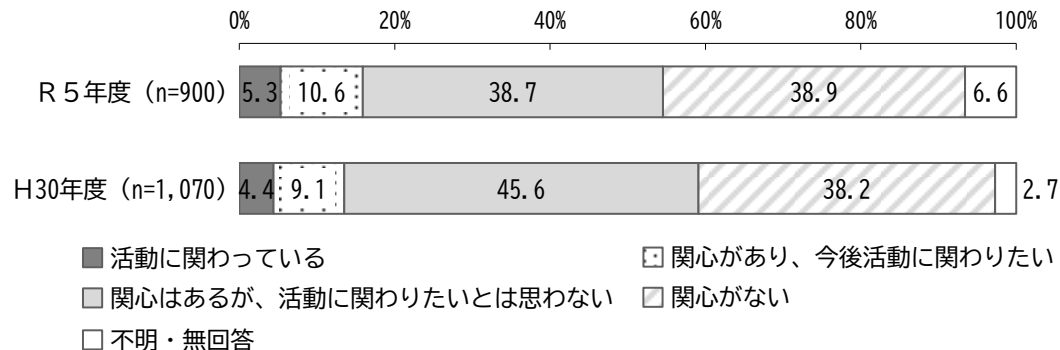
経年で比較すると、「関心がない」が増加しています。



(10) 近隣ケアグループへの関心度 (単数回答) <問 22③> **第4期指標 No.10**

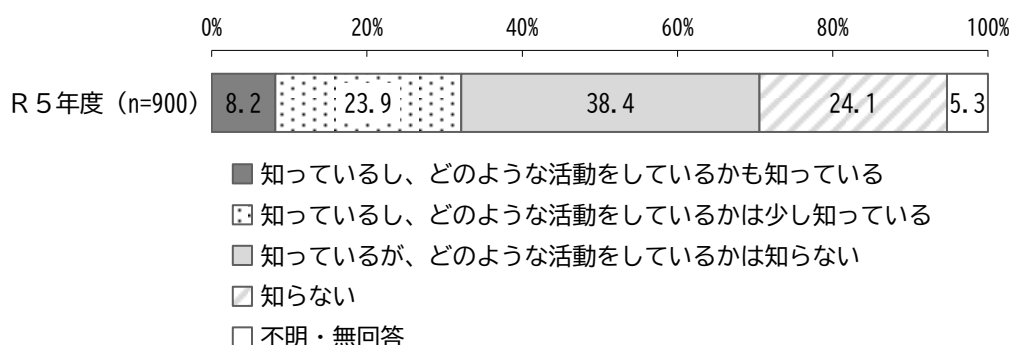
『活動に関心がある』(「活動に関わっている」と「関心があり、今後活動に関わりたい」の合算)が15.9%、『活動に関心がない』(「関心はあるが、活動に関わりたいとは思わない」と「関心がない」の合算)が77.6%となっています。

経年で比較すると、「活動に関わっている」「関心があり、今後活動に関わりたい」「関心がない」が増加しています。



(11) 民生委員・児童委員への関心度 (単数回答) <問 22④>

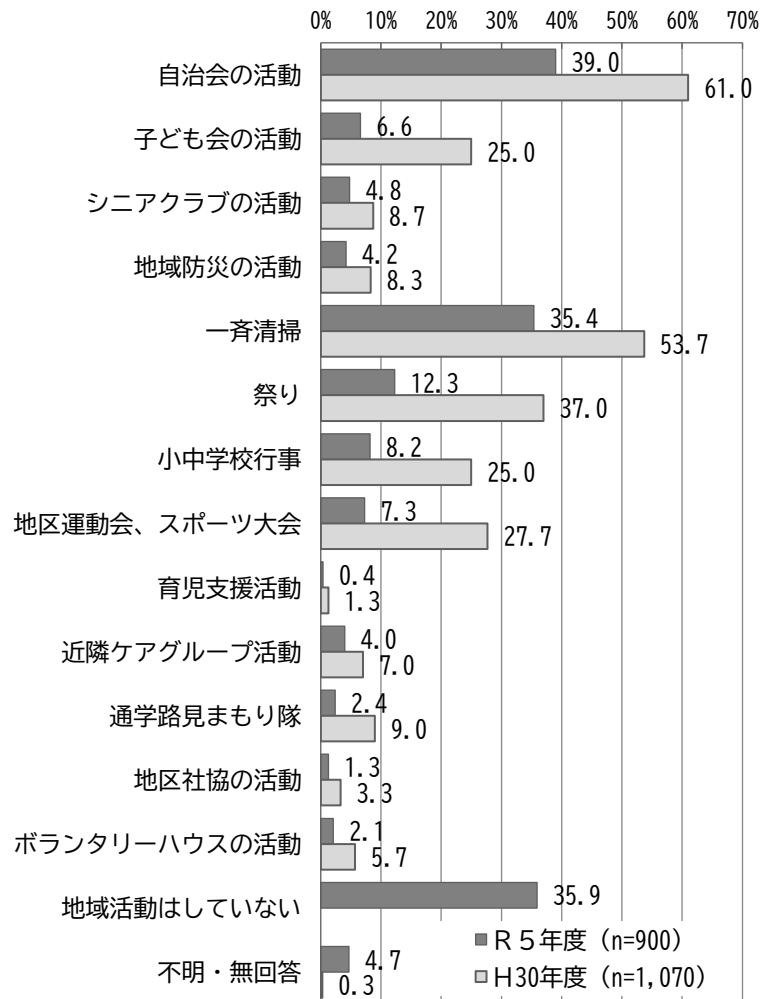
『知っているし、どのような活動をしているかも知っている』(「知っているし、どのような活動をしているかも知っている」と「知っているし、どのような活動をしているかは少し知っている」の合算)が32.1%、「知っているが、どのような活動をしているかは知らない」が38.4%、「知らない」が24.1%となっています。



4 地域活動やボランティアについて

(1) 参加している地域活動（複数回答）＜問 23＞

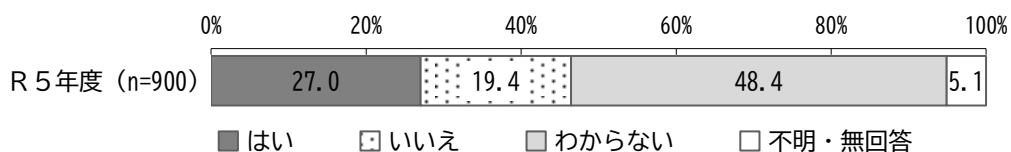
「自治会の活動」が39.0%と最も高く、次いで「地域活動はしていない」が35.9%となっています。



※平成 30 年度調査では「地域活動はしていない」の選択肢はない。

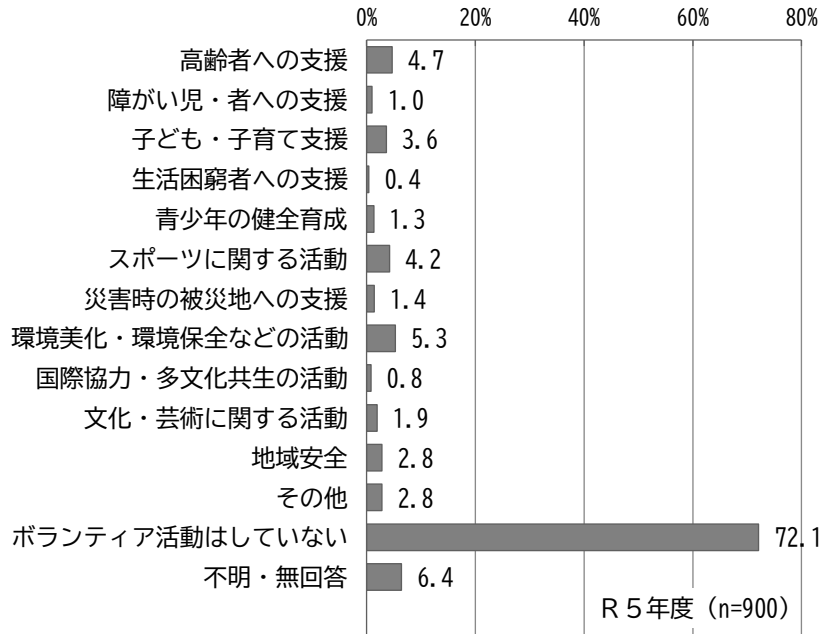
(2) 今後地域活動をしたい（続けたい）か（単数回答）＜問 24＞

「はい」が27.0%、「いいえ」が19.4%、「わからない」が48.4%となっています。

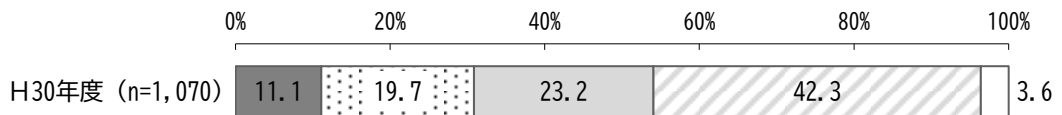


(3) 参加しているボランティア活動（複数回答） <問 25> **第4期指標 No.4**

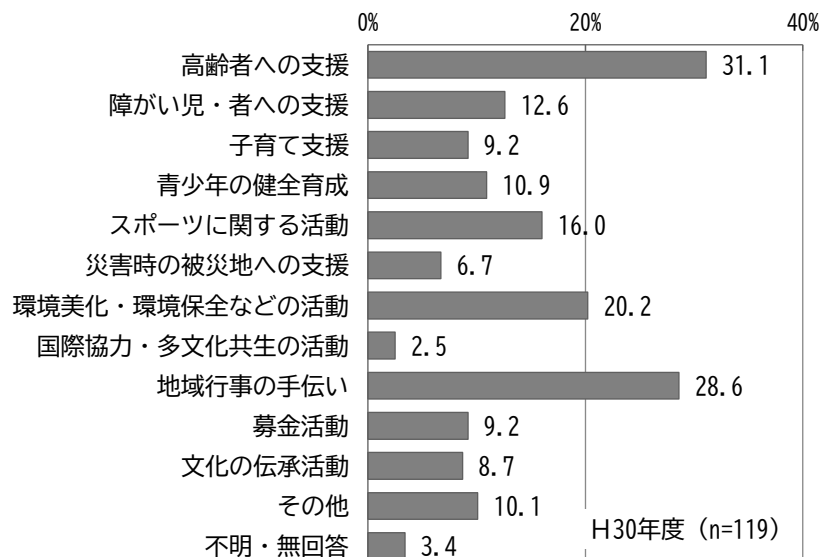
「ボランティア活動はしていない」が72.1%と最も高く、次いで「環境美化・環境保全などの活動」が5.3%となっており、ボランティアについて「活動している」市民の割合（「ボランティア活動はしていない」「不明・無回答」を除く割合）は21.5%となっています。



(参考) ※平成 30 年度調査では「ボランティア活動をしているか」という設問を設け、「活動している」と回答した人に対して、「どのようなボランティアをしているか」を聞いていた。

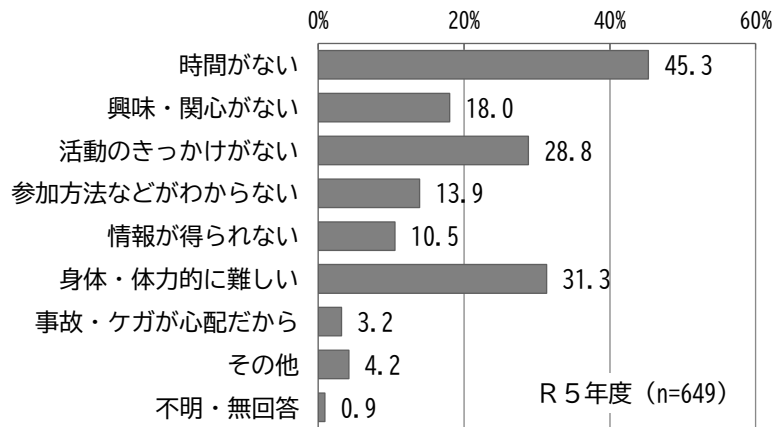


- 活動している
- ▨ 現在は活動していないが、過去に活動していたことがある
- ▩ 活動したことはないが、今後活動したい
- 活動したことはなく、今後も活動したいとは思わない
- 不明・無回答



(4) ボランティア活動に参加していない理由（複数回答）＜問 25-1＞

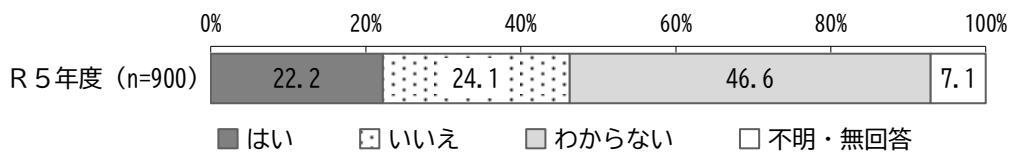
「時間がない」が45.3%と最も高く、次いで「身体・体力的に難しい」が31.3%となっています。



※問 25 で「ボランティア活動をしていない」と回答した人のみへの設問。

(5) 今後ボランティア活動をしたい（続けたい）か（単数回答）＜問 26＞

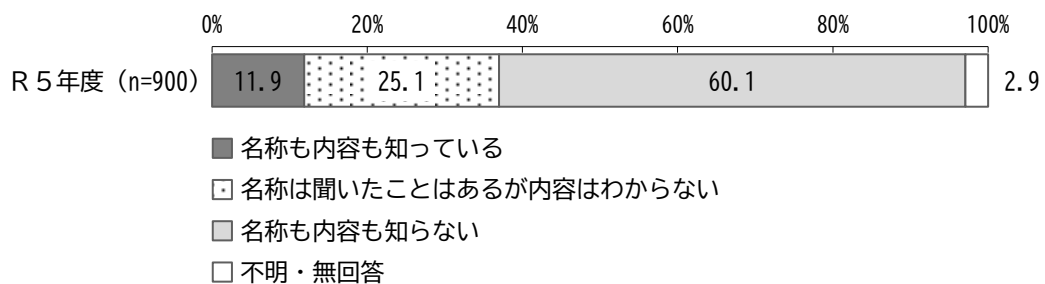
「はい」が22.2%、「いいえ」が24.1%、「わからない」が46.6%となっています。



5 日ごろからの見守り、災害に対する対策などについて

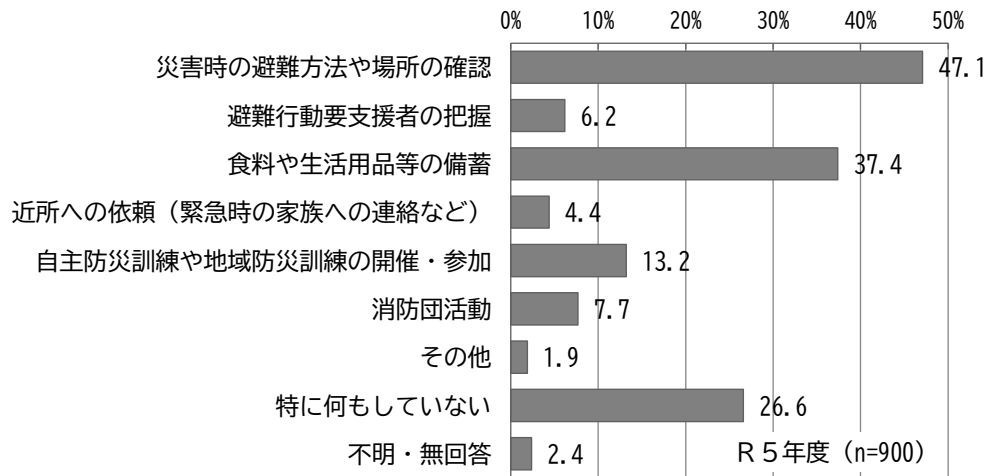
(1) 避難行動要支援者支援制度の認知度（単数回答）＜問 28＞

「名前も内容も知っている」が11.9%、「名称は聞いたことはあるが内容はわからない」が25.1%、「名称も内容も知らない」が60.1%、「不明・無回答」が2.9%となっています。



(2) 普段からの災害に対する備え（複数回答）＜問 29＞

「災害時の避難方法や場所の確認」が47.1%と最も高く、次いで「食料や生活用品等の備蓄」が37.4%となっています。

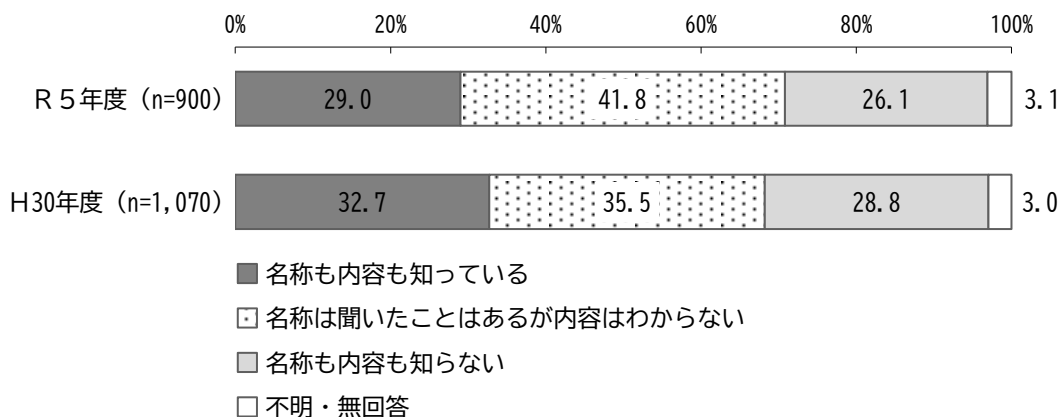


6 認知症や障がいのある方の権利擁護などについて

(1) 成年後見制度の認知度（単数回答）＜問 30＞

「名称も内容も知っている」が29.0%、「名称は聞いたことはあるが内容はわからない」が41.8%、「名称も内容も知らない」が26.1%となっています。

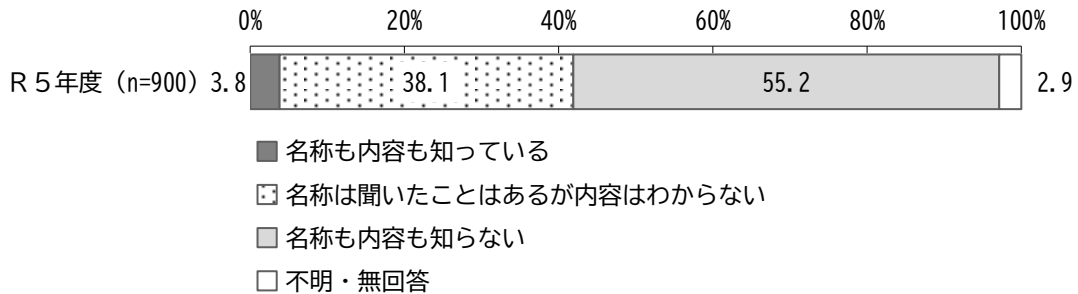
経年で比較すると、「名称は聞いたことはあるが内容はわからない」が増加しています。



7 再犯防止について

(1) 再犯防止推進法の認知度（単数回答）＜問 31＞

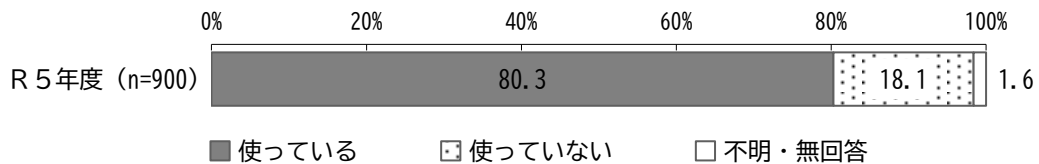
「名称も内容も知っている」が3.8%、「名称は聞いたことはあるが内容はわからない」が38.1%、「名称も内容も知らない」が55.2%となっています。



8 デジタルの活用について

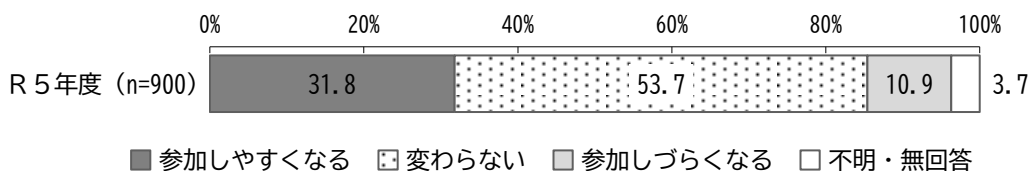
(1) スマートフォンやパソコンの所持状況（単数回答）＜問 34＞

「使っている」が80.3%、「使っていない」が18.1%となっています。



(2) オンラインによる講座やイベントへの参加について（単数回答）＜問 35＞

「参加しやすくなる」が31.8%、「変わらない」が53.7%、「参加しづらくなる」が10.9%となっています。



9 市の地域福祉について

(1) 地域福祉に関する取り組みについて満足度と重要度（単数回答）〈問 36〉

【重点課題（重要度が高く満足度が低い取り組み）：6項目】

「認知症対策の推進」「防犯活動の推進」「配慮を必要とする子どもや家庭への支援」
 「日常的なことや移動に関する支援」「相談支援の充実」「生活に困っている人への支援」

【継続推進（重要度が高く満足度が高い取り組み）：4項目】

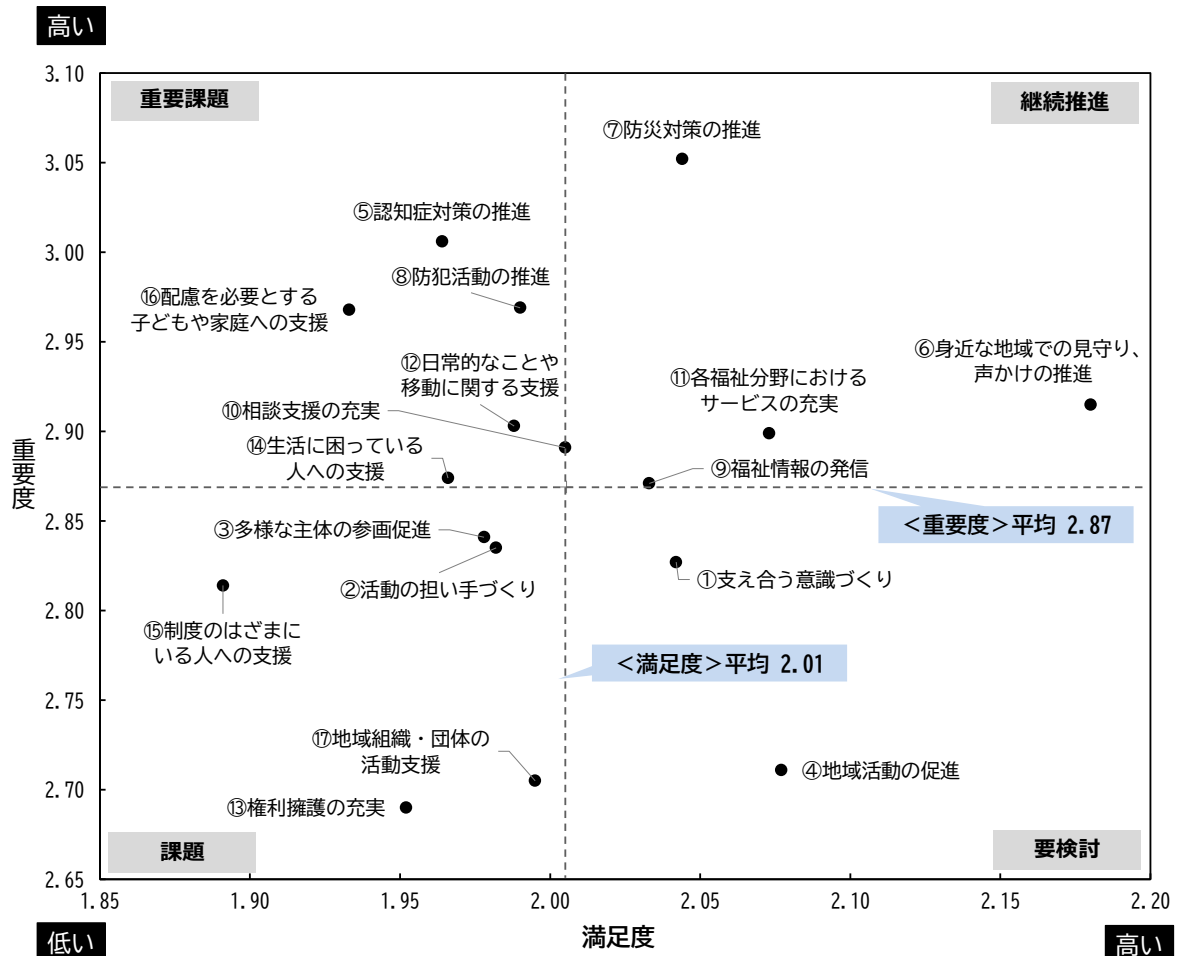
「防災対策の推進」「身近な地域での見守り、声かけの推進」
 「各福祉分野におけるサービスの充実」「福祉情報の発信」

【課題（重要度が低く満足度が低い取り組み）：5項目】

「多様な主体の参画促進」「活動の担い手づくり」「制度のはざまにいる人への支援」
 「地域組織・団体の活動支援」「権利擁護の充実」

【要検討（重要度が低く満足度が高い取り組み）：2項目】

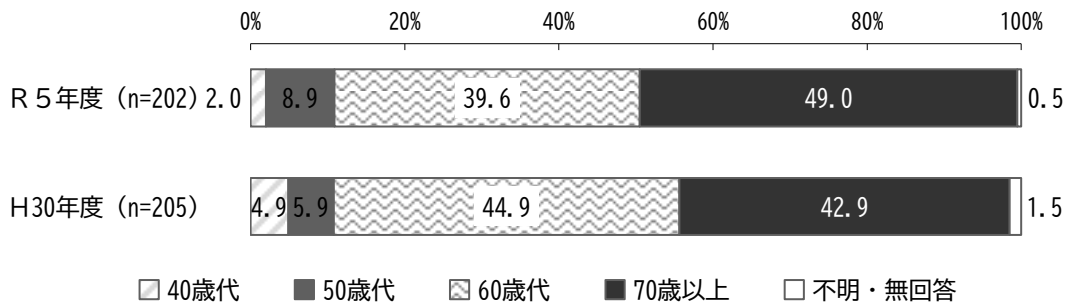
「支え合う意識づくり」「地域活動の促進」



Ⅲ 民生委員・児童委員調査結果

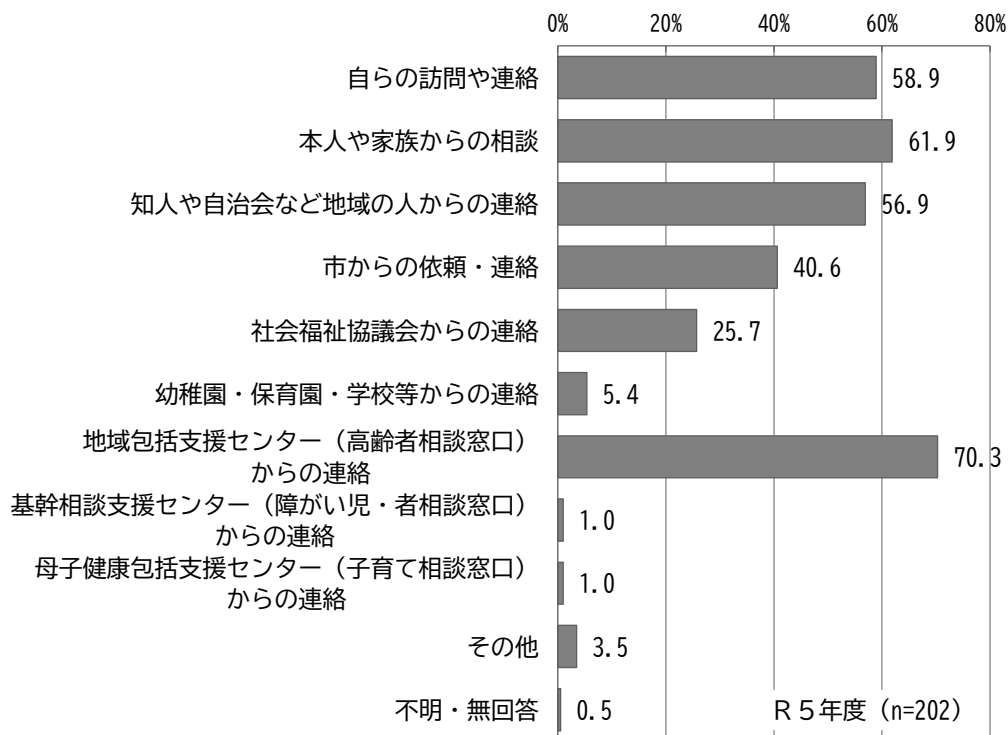
(1) 年齢（各年10月1日現在）（単数回答）＜問2＞

「70歳以上」が49.0%と最も高く、次いで「60歳代」が39.6%となっています。なお、10歳代から30歳代の該当者はありませんでした。経年で比較すると、「70歳以上」が増加しています。



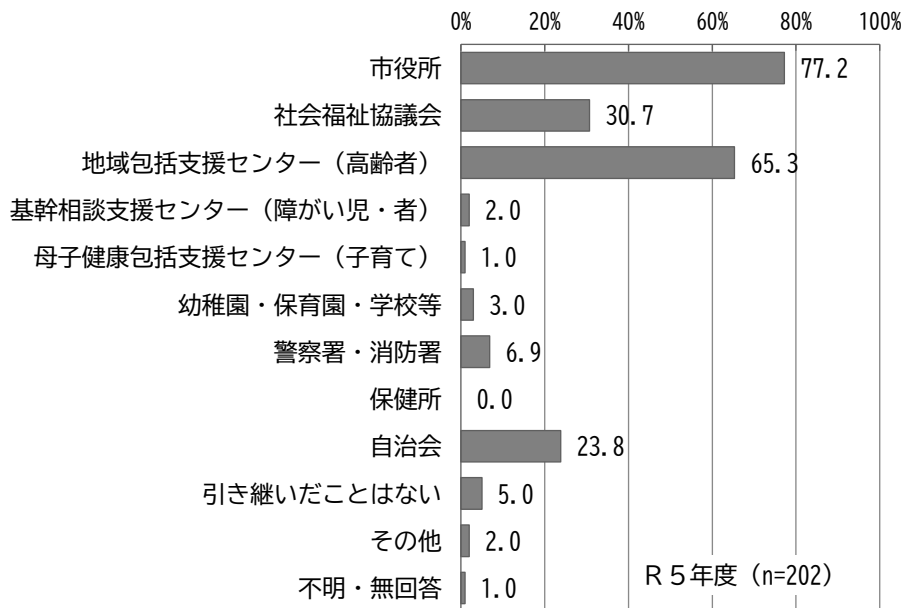
(2) 相談を受ける主なきっかけ（複数回答）＜問6＞

「地域包括支援センター（高齢者相談窓口）からの連絡」が70.3%と最も高く、次いで「本人や家族からの相談」が61.9%となっています。



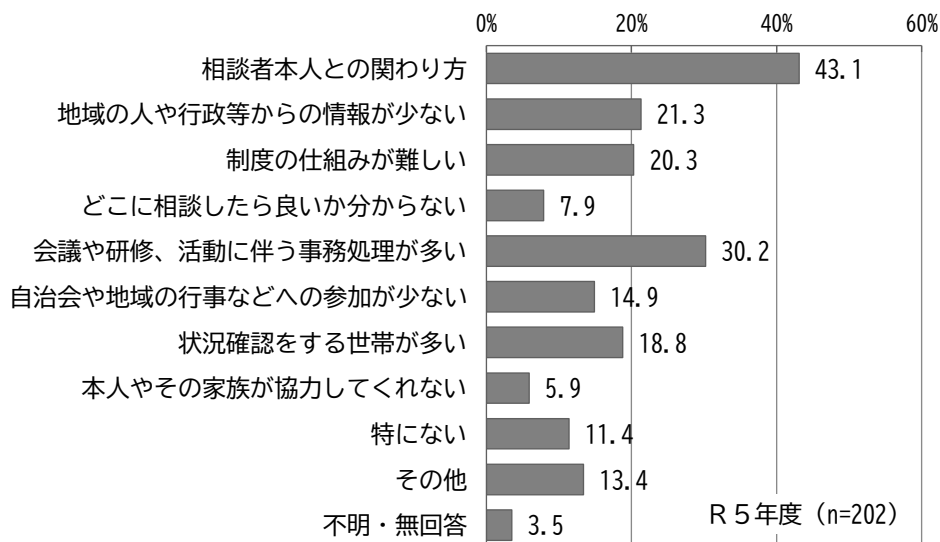
(3) 相談の引継ぎ先（複数回答）＜問7＞

「市役所」が77.2%と最も高く、次いで「地域包括支援センター（高齢者）」が65.3%となっています。



(4) 活動における悩みや苦勞（複数回答）＜問9＞

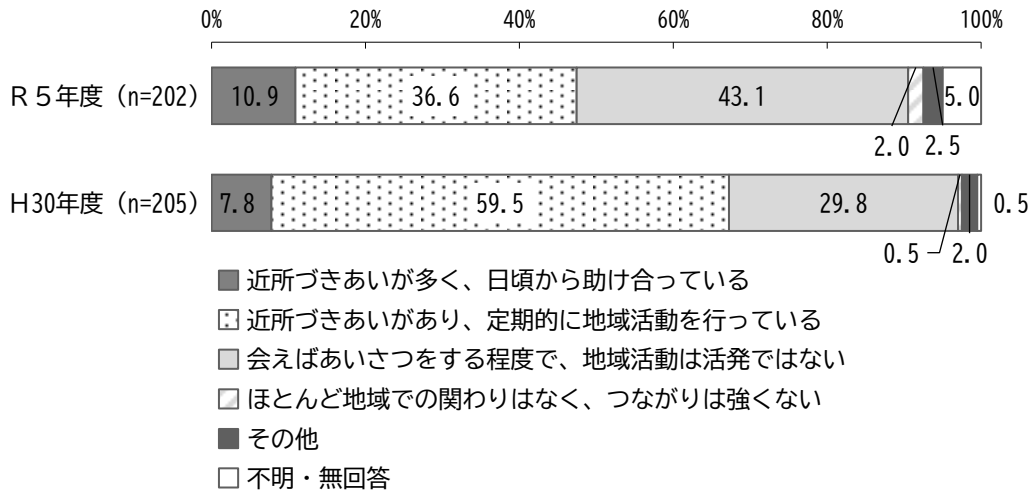
「相談者本人との関わり方」が43.1%と最も高く、次いで「会議や研修、活動に伴う事務処理が多い」が30.2%となっています。



(5) 地域のつながりについて（単数回答）＜問 10＞

「会えばあいさつをする程度で、地域活動は活発ではない」が 43.1%と最も高く、次いで「近所づきあいがあり、定期的に地域活動を行っている」が 36.6%となっています。

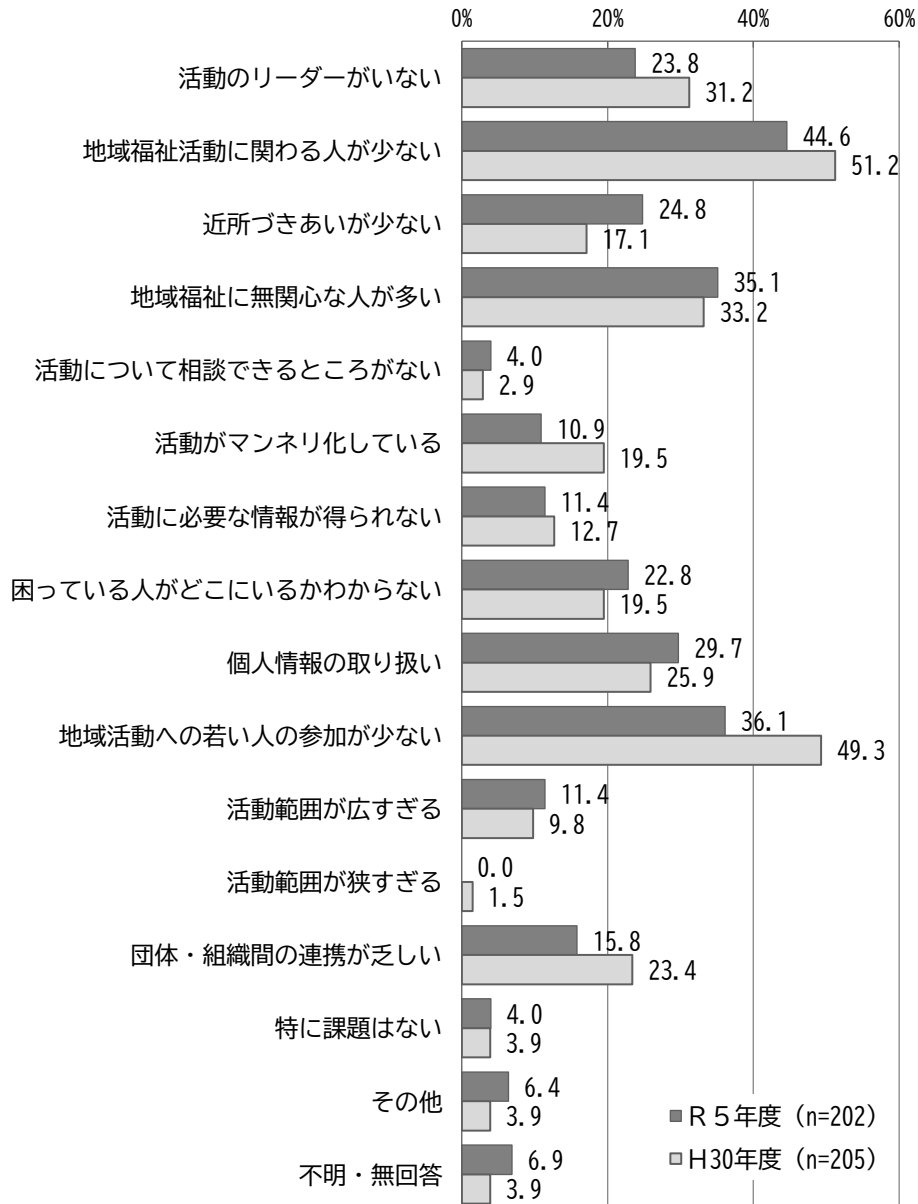
経年で比較すると、特に「会えばあいさつをする程度で、地域活動は活発ではない」が増加しています。



(6) 住民による支え合い活動を進めるにあたっての課題（複数回答）〈問 11〉

「地域福祉活動に関わる人が少ない」が44.6%と最も高く、次いで「地域活動への若い人の参加が少ない」が36.1%となっています。

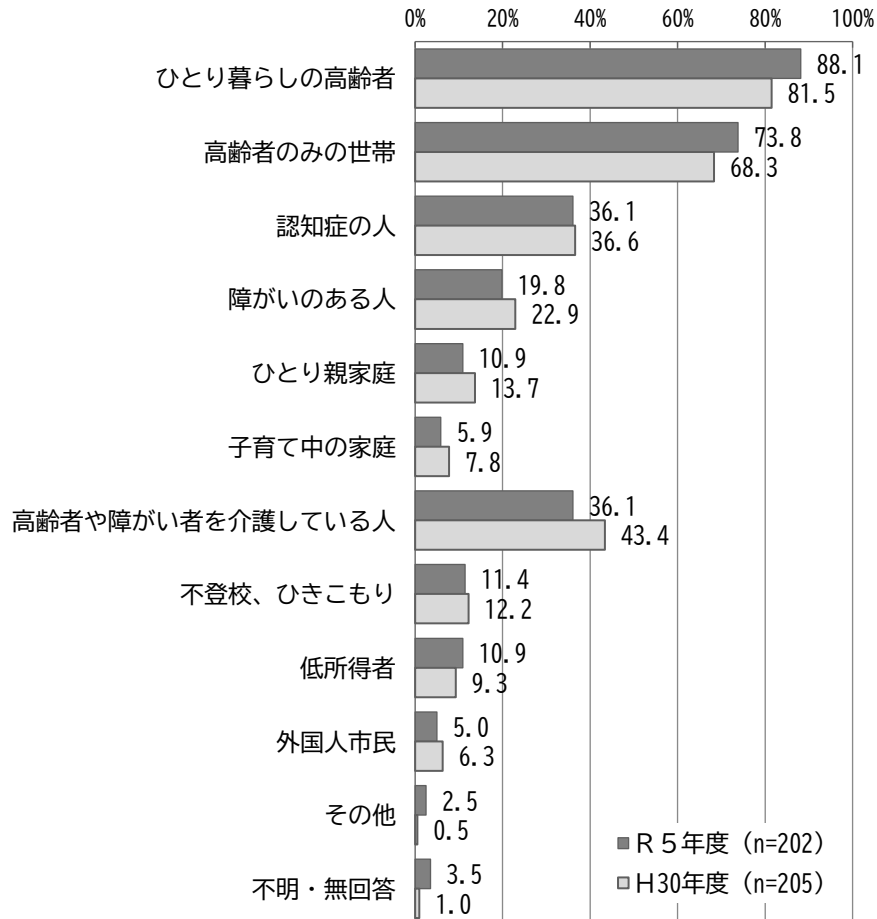
経年で比較すると、特に「近所づきあいが少ない」が増加しています。



(7) これから特に支援が必要だと思う対象（複数回答）＜問 13＞

「ひとり暮らしの高齢者」が88.1%と最も高く、次いで「高齢者のみの世帯」が73.8%となっています。

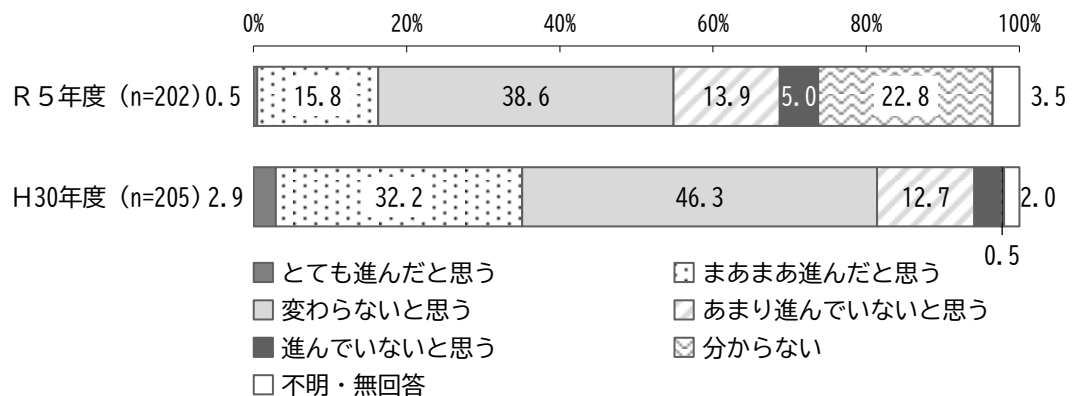
経年で比較すると、特に「ひとり暮らしの高齢者」「高齢者のみの世帯」が増加しています。



(8) この5年間で地域福祉が進んだか（単数回答）＜問 15＞

『進んだと思う』（「とても進んだと思う」と「まあまあ進んだと思う」の合算）が16.3%、「変わらないと思う」が38.6%、『進んでいないと思う』（「あまり進んでいないと思う」と「進んでいないと思う」）が18.9%となっています。

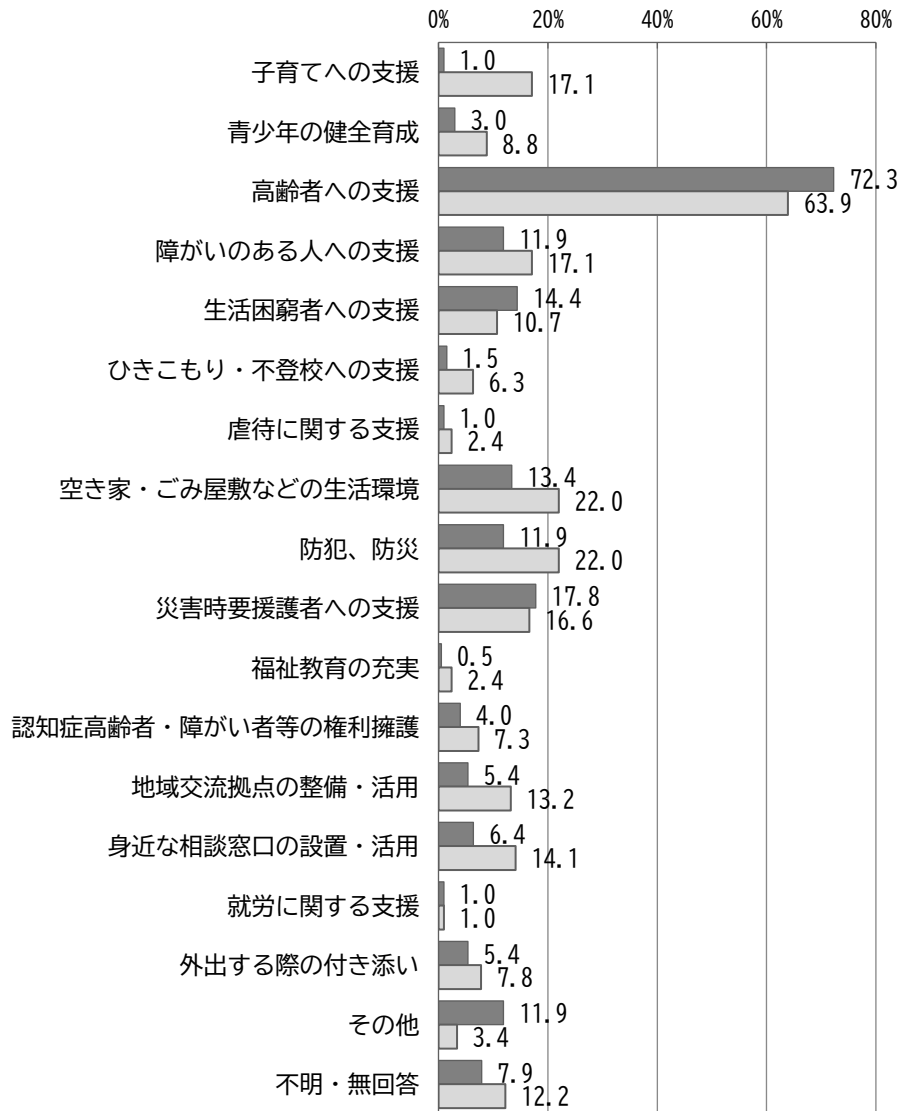
経年で比較すると、特に「分からない」が増加しています。



(9) 相談者の要望で多いもの（複数回答）〈問 16〉

「高齢者への支援」が72.3%と最も高く、次いで「災害時要援護者への支援」が17.8%となっています。

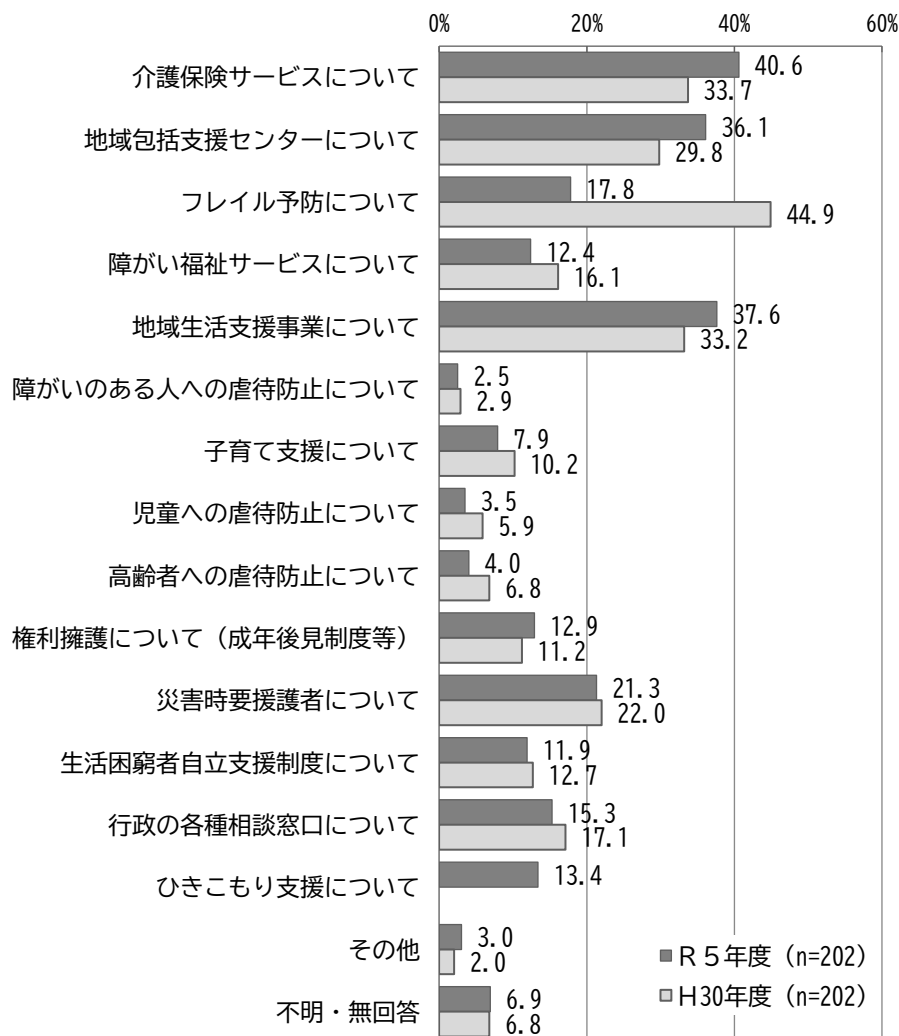
経年で比較すると、特に「高齢者への支援」「生活困窮者への支援」が増加しています。



(10) もっと知っておきたい福祉に関する情報（複数回答）＜問 18＞

「介護保険サービスについて」が 40.6%と最も高く、次いで「地域生活支援事業について」が 37.6%となっています。

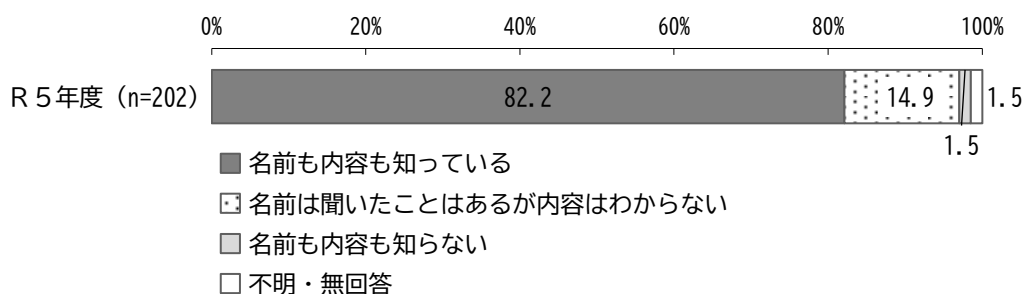
経年で比較すると、特に「介護保険サービスについて」「地域包括支援センター」が増加しています。



※平成 30 年度調査では「ひきこもり支援について」の選択肢はない。

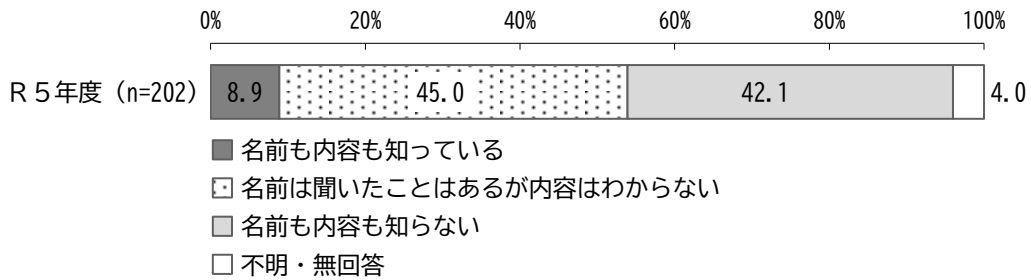
(11) 避難行動要支援者支援制度の認知度（単数回答）＜問 20＞

「名前も内容も知っている」が 82.2%、「名前は聞いたことはあるが内容はわからない」が 14.9%、「名前も内容も知らない」が 1.5%となっています。



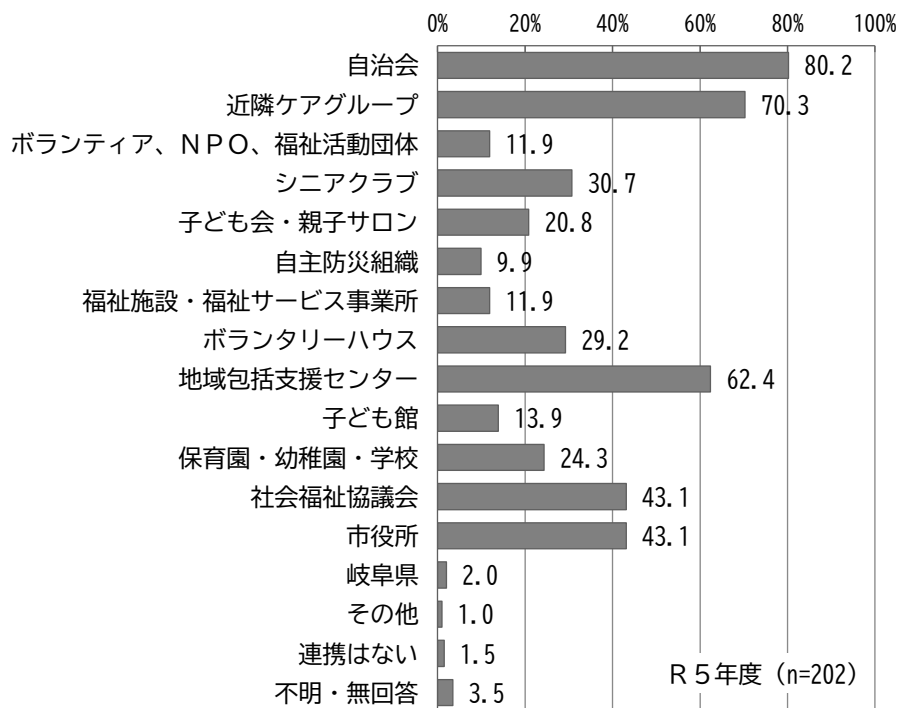
(12) 再犯防止推進法の認知度（単数回答）＜問 22＞

「名前も内容も知っている」が 8.9%、「名前は聞いたことはあるが内容はわからない」が 45.0%、「名前も内容も知らない」が 42.1%となっています。

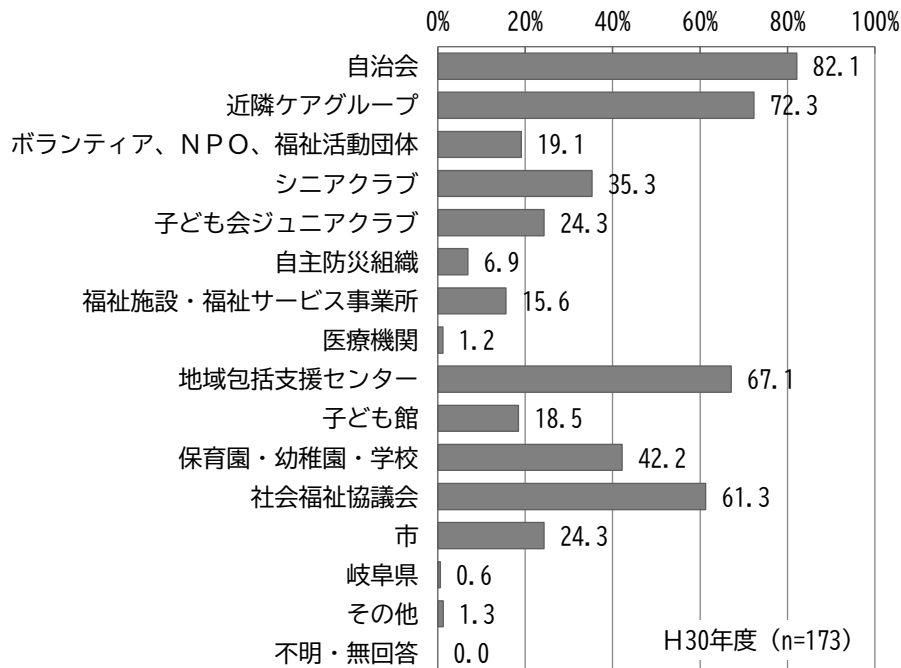


(13) 連携している組織・団体（複数回答）＜問 24＞

「自治会」が 80.2%と最も高く、次いで「近隣ケアグループ」が 70.3%となっています。



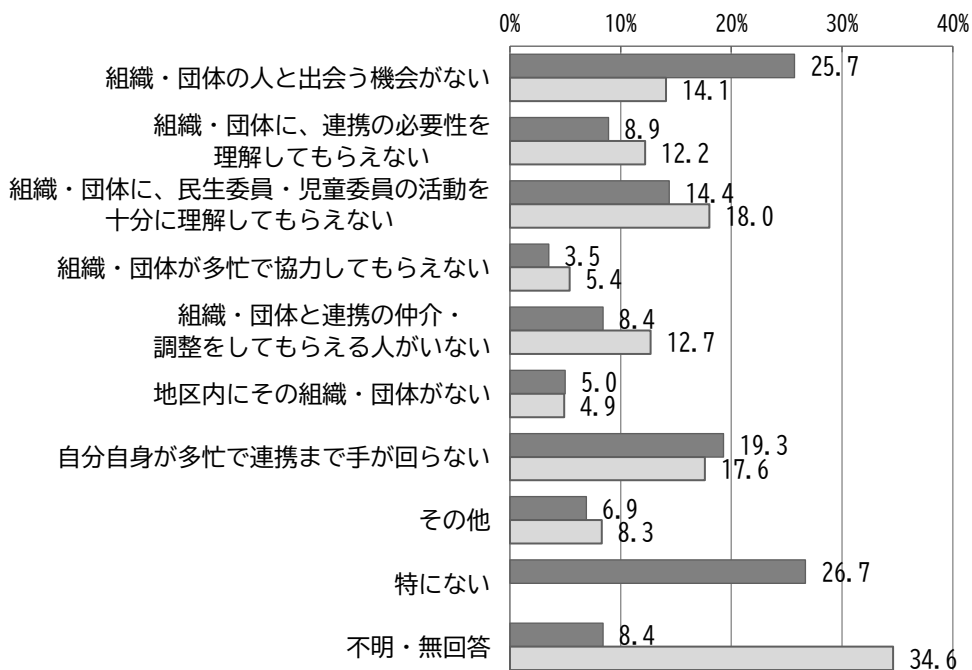
(参考) ※平成 30 年度調査では「他組織・団体との連携はあるか」という設問を設け、「連携がある」と回答した人に対して、「どのような組織・団体と連携があるか」を聞いていた。



(14) 他組織・団体と連携する上での困りごと（複数回答）＜問 26＞

「特にない」が 26.7%と最も高く、次いで「組織・団体の人と出会う機会がない」が 25.7%となっています。

経年で比較すると、特に「組織・団体の人と出会う機会がない」が増加しています。

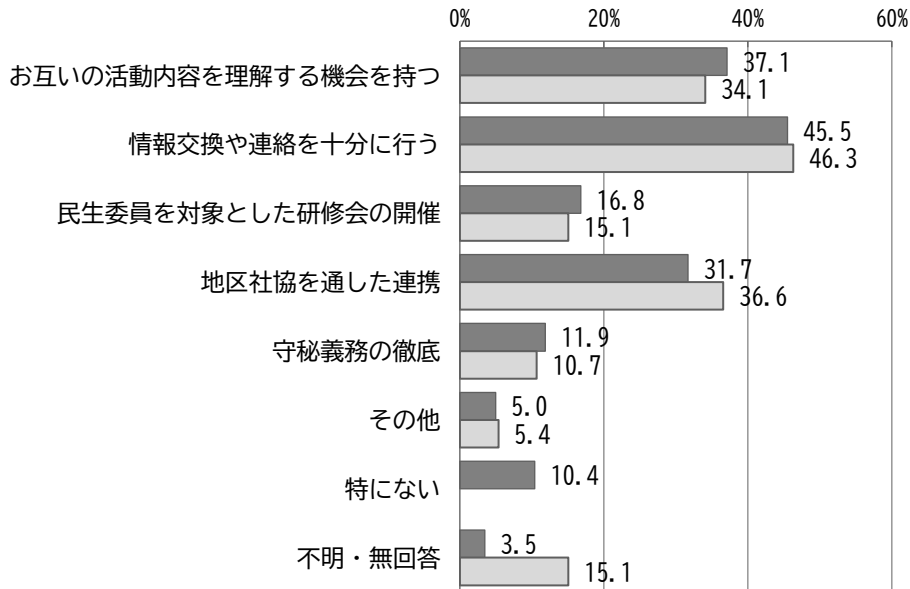


※平成 30 年度調査では「特にない」の選択肢はない。

(15) 社会福祉協議会との連携で必要なこと（複数回答）〈問 27〉

「情報交換や連絡を十分に行う」が45.5%と最も高く、次いで「お互いの活動内容を理解する機会を持つ」が37.1%となっています。

経年で比較すると、特に「お互いの活動内容を理解する機会を持つ」が増加しています。



※平成 30 年度調査では「特にない」の選択肢はない。

(16) 地域福祉に関する取り組みについて満足度と重要度（単数回答）＜問 28＞

【重点課題（重要度が高く満足度が低い取り組み）：6項目】

「活動の担い手づくり」「多様な主体の参画促進」「認知症対策の推進」「配慮を必要とする子どもや家庭への支援」「地域組織・団体の活動支援」「防犯活動の推進」

【継続推進（重要度が高く満足度が高い取り組み）：3項目】

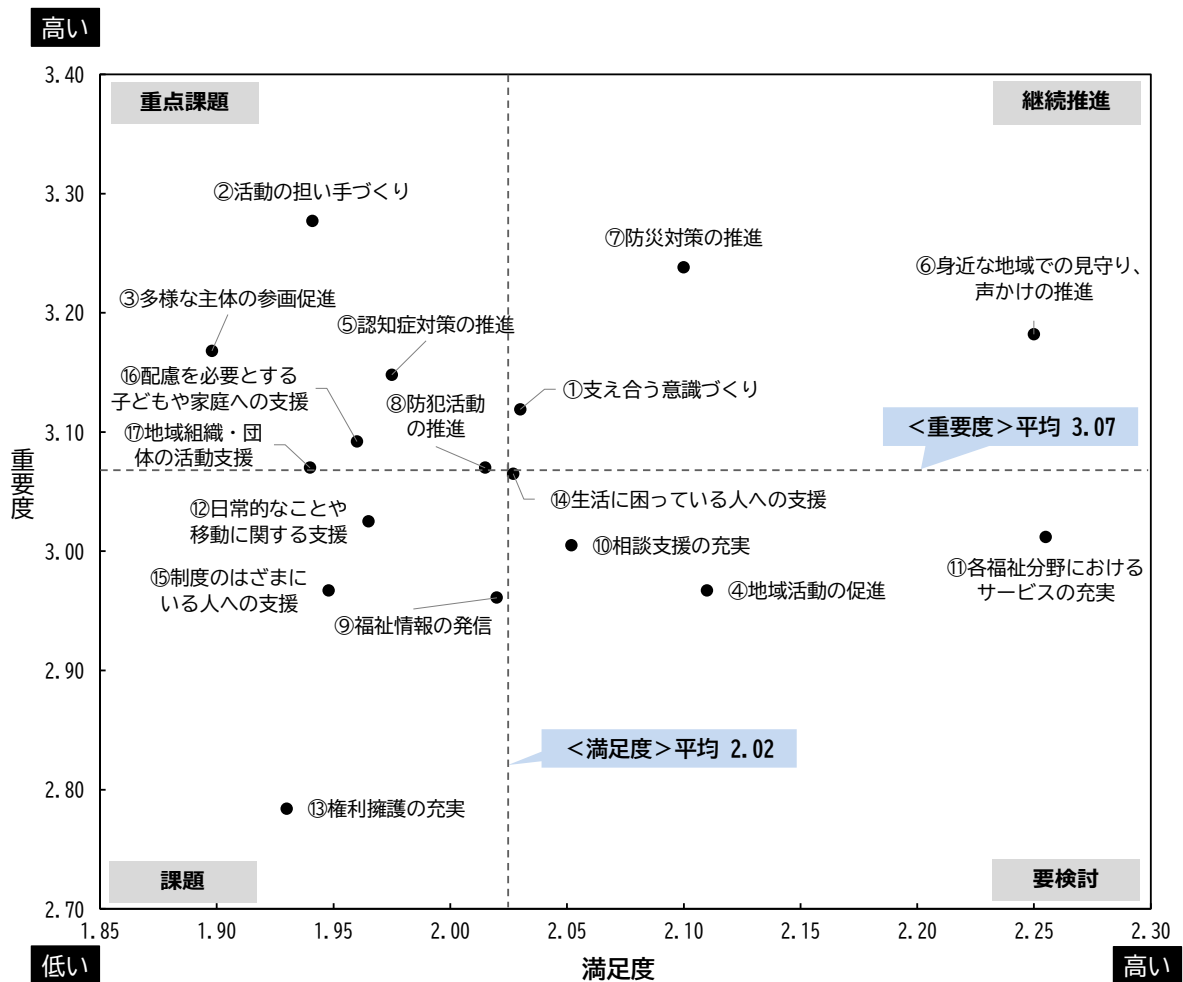
「防犯対策の推進」「身近な地域での見守り、声かけの推進」「支え合う意識づくり」

【課題（重要度が低く満足度が低い取り組み）：4項目】

「日常的事業や移動に関する支援」「制度のはざまにいる人への支援」
「福祉情報の発信」「権利擁護の充実」

【要検討（重要度が低く満足度が高い取り組み）：4項目】

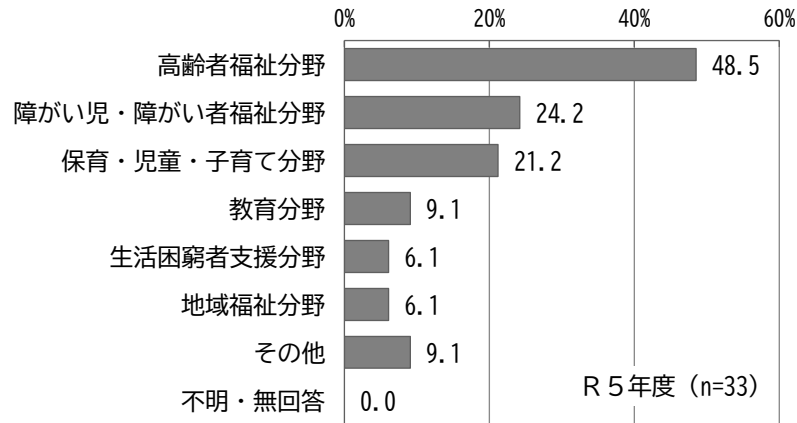
「生活に困っている人への支援」「各福祉分野におけるサービスの充実」
「相談支援の充実」「地域活動の促進」



IV 団体調査結果

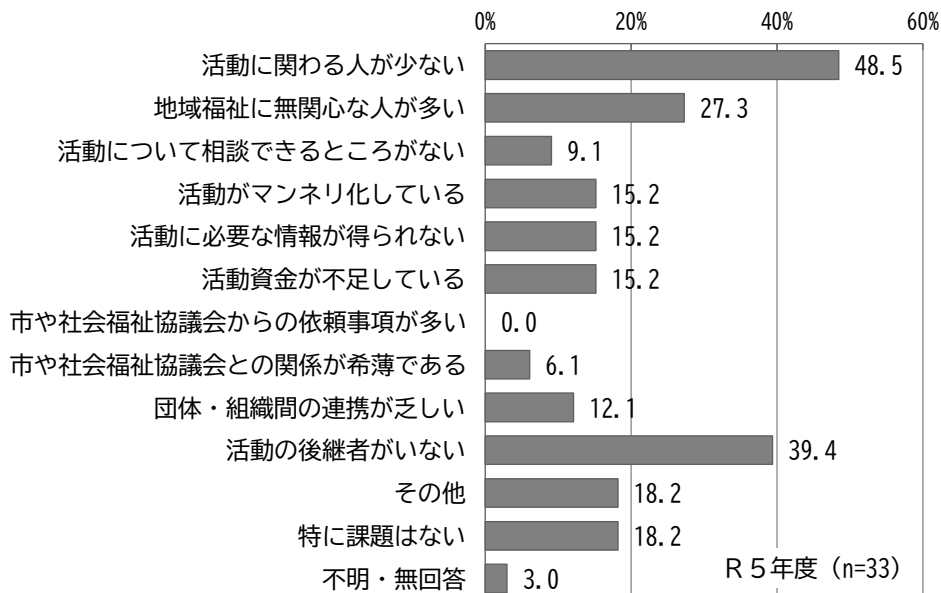
(1) 活動分野（複数回答）＜問1③＞

「高齢者福祉分野」が48.5%と最も高く、次いで「障がい児・障がい者福祉分野」が24.2%となっています。



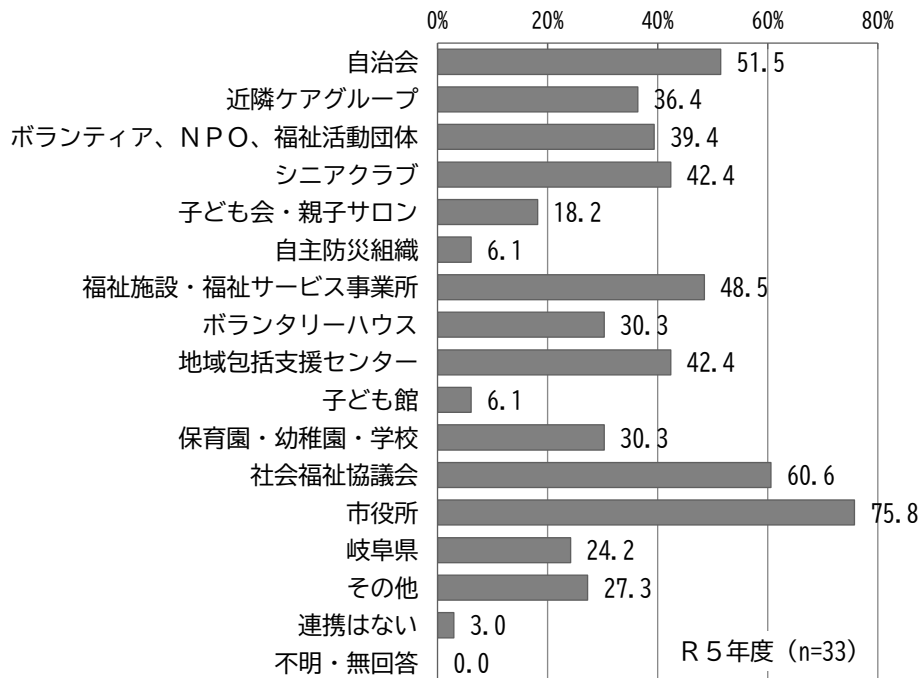
(2) 団体活動を行う上での困りごと・問題点（複数回答）＜問2＞

「活動に関わる人が少ない」が48.5%と最も高く、次いで「活動の後継者がいない」が39.4%となっています。



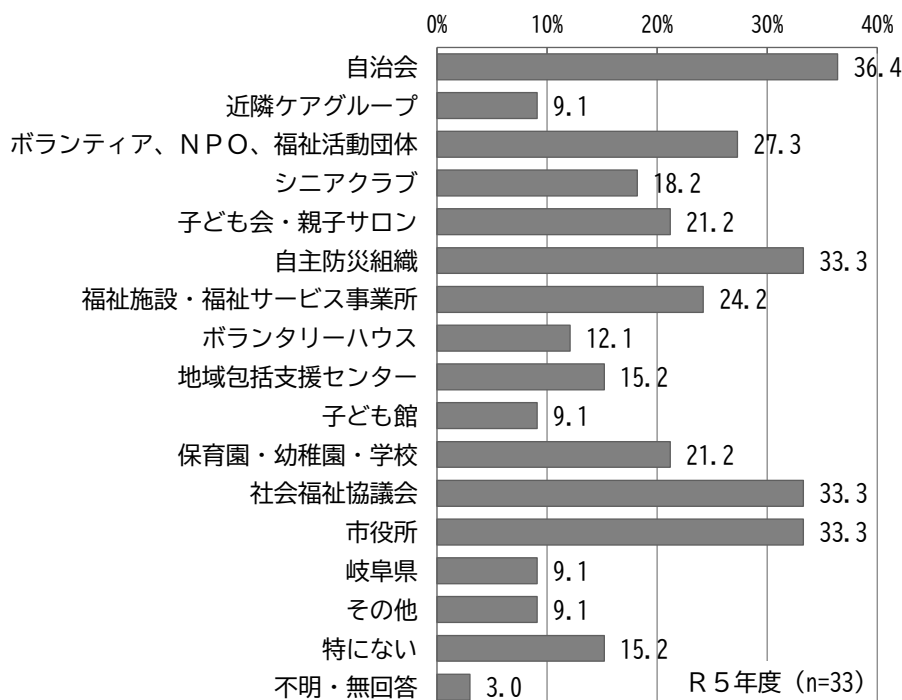
(3) 連携をとっている組織・団体（複数回答）〈問3〉

「市役所」が75.8%と最も高く、次いで「社会福祉協議会」が60.6%となっています。



(4) 今後、連携を取りたい組織・団体（複数回答）〈問4〉

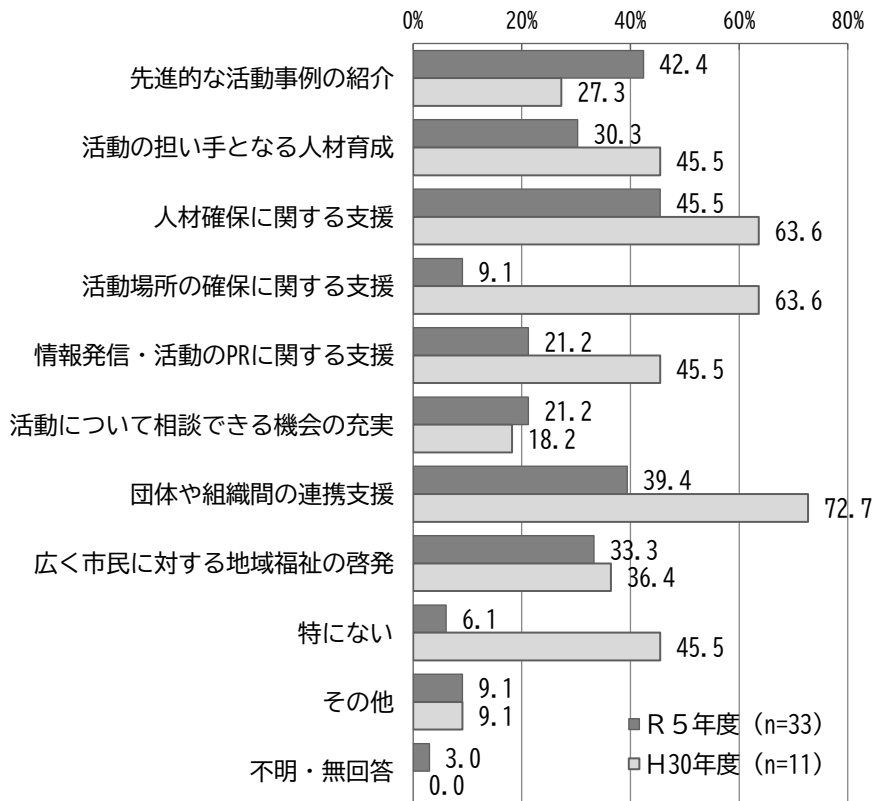
「自治会」が36.4%と最も高く、次いで「自主防災組織」「社会福祉協議会」「市役所」がそれぞれ33.3%、「ボランティア、NPO、福祉活動団体」が27.3%となっています。



(5) 市や社会福祉協議会に実施してほしい支援（複数回答）＜問5＞

「人材確保に関する支援」が45.5%と最も高く、次いで「先進的な活動事例の紹介」が42.4%となっています。

経年で比較すると、「先進的な活動事例の紹介」「活動について相談できる機会の充実」が増加しています。



(6) 地域福祉に関する取り組みについて満足度と重要度（単数回答）＜問7＞

【重点課題（重要度が高く満足度が低い取り組み）：6項目】

「認知症対策の推進」「防災対策の推進」「多様な主体の参画促進」「配慮を必要とする子どもや家庭への支援」「活動の担い手づくり」「支え合う意識づくり」

【継続推進（重要度が高く満足度が高い取り組み）：3項目】

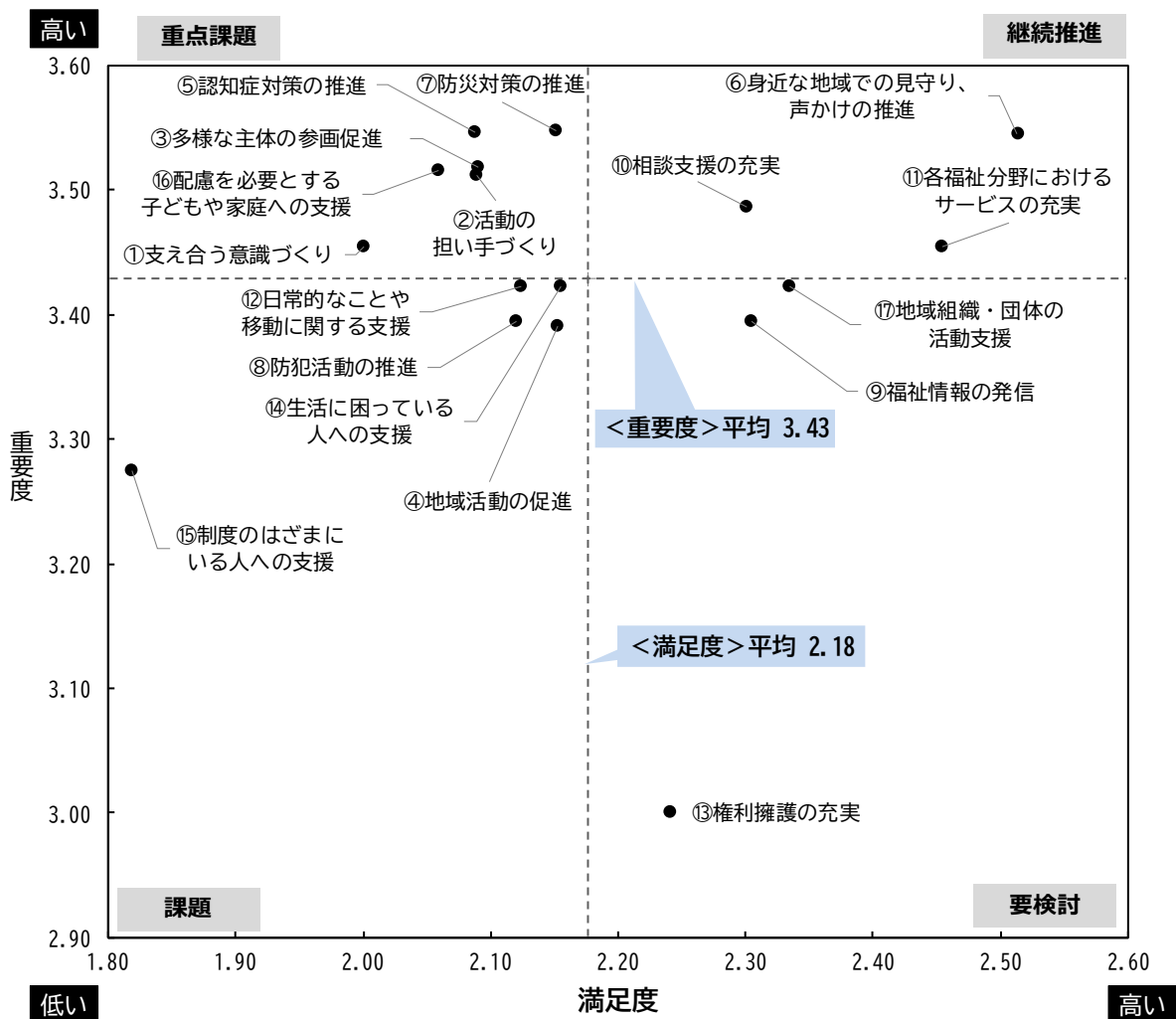
「相談支援の充実」「各福祉分野におけるサービスの充実」「身近な地域での見守り、声かけの推進」

【課題（重要度が低く満足度が低い取り組み）：5項目】

「日常的なことや移動に関する支援」「生活に困っている人への支援」「防犯活動の推進」「地域活動の促進」「制度のはざまにいる人への支援」

【要検討（重要度が低く満足度が高い取り組み）：3項目】

「地域組織・団体の活動支援」「福祉情報の発信」「権利擁護の充実」



V 第4期各務原市地域福祉計画・地域福祉活動計画の成果指標

	指標項目	H30年度	R5年度	比較	調査票No.	市民満足度調査
基本目標1(1)						
1	福祉は、地域住民による助けあいと行政との協力によって行われるべきであると思う市民の割合	55.0%	43.4%	-11.6%	問15	
2	高齢者や障がいを持っている方などへの手助けを心がけている市民の割合	77.5%	76.1%	-1.4%		○
基本目標1(2)						
3	まちづくりに参加したいと思っている市民の割合	33.2%	31.5%	-1.7%		○
4	ボランティアについて「活動している」市民の割合	11.1%	21.5%	10.4%	問25	
基本目標1(3)						
5	地域の活動やボランティア活動に参加する青少年が多くなったと感じる市民の割合	10.9%	6.0%	-4.9%		○
6	高齢者にとって知識や経験を生かせる場があると思う人の割合	26.8%	20.1%	-6.7%		○
基本目標2(1)						
7	1年以内に地域の行事に参加した住民の割合	47.3%	42.4%	-4.9%		○
8	近所づきあいの満足度	85.1%	86.1%	1.0%	問8	
基本目標2(2)						
9	地域包括支援センターの認知度(どんな活動をしているか知っている)と回答した市民の割合	23.1%	52.2%	29.1%	問18	
10	近隣ケアグループ活動への関心度(活動に関わりたい)と回答した市民の割合	13.5%	15.9%	2.4%	問22	
基本目標2(3)						
11	治安が良いまちだと感じる市民の割合	65.6%	63.0%	-2.6%		○
基本目標3(1)						
12	福祉サービスの情報が入手できている市民の割合	8.0%	9.0%	1.0%	問20	
13	子育てしやすい環境が整っていると感じる市民の割合	42.8%	51.2%	8.4%		○
14	老後も安心して暮らせると思う市民の割合	30.8%	30.0%	-0.8%		○
15	日頃から、健康維持のために何かに取り組んでいる市民の割合	63.9%	64.3%	0.4%		○
基本目標3(2)						
16	悩みや不安を相談する人や場所がある市民の割合	89.3%	89.9%	0.6%	問17	
17	子育てについて相談する人や場所があると思う市民の割合	59.3%	67.8%	8.5%		○
基本目標3(3)						
18	社会福祉協議会活動への関心度(活動に関わりたい)と回答した市民の割合	14.3%	11.3%	-3.0%	問22	
19	地区社会福祉協議会活動への関心度(活動に関わりたい)と回答した市民の割合	15.3%	10.9%	-4.4%	問22	

第5期各務原市地域福祉計画・
地域福祉活動計画に係るアンケート調査
【結果報告書 概要版】

発行 : 各務原市
編集 : 各務原市 健康福祉部 福祉政策課
住所 : 〒504-8555 岐阜県各務原市那加桜町一丁目 69 番地
電話番号 : (058) 383-1127
発行年月 : 令和5年12月